

RQ-A820PVF

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
- この取扱説明書は大切に保管ください。
- 本機は、日本国内専用モデルのため、海外で使用することはできません。

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。

- 電話でのお問い合わせ

0120-099-355(フリーダイヤル)

上記番号がご利用頂けない場合は、

03-4330-3766(通話料はお客様のご負担となります)

受付：9:00～18:00(土・日・祝日・当社休日を除く)

- メールでのお問い合わせ

rqshop.support@naviquest.co.jp

※土・日・祝日・当社休日にごいただいたお問い合わせは、翌営業日以降の対応となります。

- 製品サイト

<https://roadquest.naviquest.co.jp>



目次

はじめに	5	地上デジタル放送用外部アンテナを取り付ける	34
内容物の確認	6	フィルムアンテナについて	34
本書の読み方	7	フィルムアンテナ取り付け時の注意点	35
安全上のご注意	8	フィルムアンテナの取り付け位置について	36
取り付けや配線をするとき	9	フィルムアンテナの取り付け手順について	37
ご使用になるとき	11	起動とメインメニュー	41
使用上のご注意	14	電源を ON/OFF する	42
液晶ディスプレイについて	14	電源を ON する	42
本機のお手入れについて	14	電源を OFF する	42
Wi-Fi モジュールについて	14	画面表示を OFF/ON する	42
免責事項について	15	メインメニューについて	43
各部の名称とはたらきについて	16	各種システム設定をする	44
タッチパネルの操作について	18	システム設定する	44
基本的な操作について	18	スタート画面を設定する	44
リストのスクロール操作について	20	システム情報を見る	45
音量スライダーの操作について	21	工場出荷時に戻す	45
現在地 (自車位置) の測位について	22	ナビの基本操作	47
現在地 (自車位置) を測位するまでの時間について	22	ナビを起動 / 終了する	48
現在地 (自車位置) が測位できない環境について	22	ナビを起動する	48
現在地 (自車位置) の誤差について	23	ナビを終了する	48
地上デジタル放送について	24	ナビメニューについて	49
miniB-CAS カードについて	25	地図 (現在地表示) について	50
miniB-CAS カードに関するお問い合わせ先について	26	地図 (現在地表示) の表示内容について	50
取り付け	27	地図 (現在地表示) のボタンについて	51
本機を車に取り付ける	28	地図表示記号について	52
取り付け位置について	28	地図アイコン (例)	52
取り付けについてのご注意	29	3D アイコン (例)	53
取り付け手順について	30		
ロッドアンテナを取り付ける	33		

地図 (スクロール中) について	54	る	83
地図を操作する	55	経由地を設定する	84
地図をスクロールする	55	ルート計算方法について	85
地図を拡大/縮小する	56	ルート探索時の注意点	85
地図を回転する	56	経由地設定時の注意点	85
地図の家形表示を変更する	56	ルートを確認して案内を開始する	86
地図の表示角度を変更する	57	ルート情報を見る	87
地図方向を変更する	57	デモ走行する	87
ナビと AV 機能を分割表示する	58	ルート案内について	88
ナビ画面の共通操作について	60	一般道路の案内画面について	88
現在地に戻る	60	交差点拡大図について	89
一つ前の画面に戻る	60	ハイウェイガイドについて	90
リストをスクロールする	60	イラストガイドについて	91
文字入力キーボードについて	61	リルートについて	92
システム標準キーボード	61	道路切り替えについて	92
ナビ専用キーボード	62	トンネルアシストについて	92
行き先を探す	65	ナビの設定と登録情報	93
さまざまな方法で行き先を探す	66	ナビの各種設定をする	94
検索地点周辺地図について	67	地図の表示内容を設定する	95
目的地履歴から探す	68	ルート探索を設定する	96
検索履歴から探す	69	ルート案内を設定する	97
自宅を行き先にする	70	安全運転ガイドを設定する	98
登録地点から探す	71	アプリケーションを設定する	99
周辺施設から探す	72	ランドマークを設定する	100
施設名から探す	73	開通前道路情報を設定する	101
住所から探す	74	自宅を登録する	102
施設のジャンルから探す	75	地図から登録する	102
電話番号から探す	77	地点を検索して登録する	102
駅名から探す	78	地点を登録する	103
地図から探す	79	地図から登録する	103
緯度と経度から探す	80	地点を検索して登録する	103
ルート探索と案内	81	ルートを登録する	104
ルート探索を開始する	82	ルートを登録する	104
目的地を探してルート探索を開始する	82	登録ルートからルートを設定する	104
ルートを編集してルート探索を開始する	82		

登録情報を管理する	105	利用できる記録メディアについて	132
登録地点名を変更する	105	再生できるファイル形式について	132
登録地点アイコンを変更する	106	音楽を再生する	133
登録地点を削除する	107	メインメニューから起動する	133
登録ルートを削除する	107	ナビから起動する	133
目的地履歴を削除する	108	音楽プレーヤーについて	134
検索履歴を削除する	108	音楽プレーヤー (2画面分割表示時) について	135
走行軌跡を削除する	109	音楽ファイルがあるフォルダーを指定する	135
GPS 情報を見る	110	動画を再生する	136
ナビシステム情報を見る	111	メインメニューから起動する	136
ナビデータを初期化する	112	ナビから起動する	136
ナビシステムをアップデートする	113	動画プレーヤーについて	137
VICS を利用する	115	動画プレーヤー (2画面分割表示時) について	138
VICS 情報を表示する	116	動画ファイルがあるフォルダーを指定する	138
VICS について	116	写真を表示する	139
VICS 情報の表示手順について	116	メインメニューから起動する	139
インターネットに接続する	117	フォトビューアーについて	139
シリアル情報を登録する	118	フォトビューアー (全画面表示時) について	140
シリアル情報を確認・更新する	119	写真ファイルがあるフォルダーを指定する	140
VICS 表示について	120	外部機器を接続 (AV 入力) する	141
VICS 情報を考慮したルート探索について	121	AV ケーブルを接続する	141
VICS を設定する	122	メインメニューから起動する	142
VICS 表示を設定する	122	ナビから起動する	142
VICS 更新方法を設定する	123	外部入力画面について	143
テレビ・AV 機能	125	外部入力画面 (2画面分割表示時) について	143
テレビを視聴する	126	バックカメラを接続する	144
メインメニューから起動する	126	その他	145
ナビから起動する	126	仕様	146
テレビを視聴するための手順について	127	保証について	147
テレビ画面について	129		
テレビ画面 (2画面分割表示時) について	130		
テレビを設定する	131		
メディアおよびファイルについて	132		

はじめに

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。

	品名	数量
	ナビゲーション本体	1
	吸盤スタンド	1
	吸盤スタンドベース板	1
	シガーソケットコード	1
	地上デジタル放送用ロッドアンテナ (本体装着済み)	2
	miniB-CAS カード	1
	取扱説明書／保証書(本書)	1

本書の読み方

ボタン名

本書では、ボタンを [メニュー] のように、[〇〇] と表記しています。

インデックス

章の内容を示すインデックスです。

駅名から探す

駅名から行き先を探します。
本機には全国の JR・私鉄・地下鉄・その他鉄道の駅が収録されています。

- 1 [メニュー] → [目的地検索] → [駅名] をタッチします。



- 2 駅名を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ 61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照) 入力完了後、[検索] をタッチします。 ※検索は前方一致で行います。



- ナビ専用キーボードは、ひらがなで名称を入力します。システム標準キーボードは、漢字での名称入力が可能です。

- 3 検索結果が表示されます。リストから該当の駅をタッチします。



- 4 選択した駅に出入口情報がある場合、出入口リストが表示されます。リストから該当の出入口をタッチします。



- 5 選択した駅周辺の地図が表示されます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)



行き先を
探す

77

補足

手順の補足説明や制限事項について説明しています。

参照ページ

本書では、参照ページを以下のように表記しています。
(→〇〇ページの「〇〇」を参照)





※上記はサンプルページです。本書の実際のページとは異なる場合があります。

安全上のご注意

ご使用になる前に、以下の注意事項と取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく理解してからご使用ください。

お使いになるかたや他の人への危害と物的損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を説明しています。

以下の図記号の表示と意味をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

 警告	「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容」です。
 禁止	「してはいけない内容」です。
 実施	「実施しなければならない内容」です。

取り付けや配線をするとき



警告

	<p>説明書に従って正しく配線・取り付けを行う。指示に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因となります。</p>
<p>実施</p>	<p>取り付けは安全な場所に駐車して行う。走行中の取り付けは大変危険です。</p>
	<p>プラスアースの車と接続しない。本機は、DC12V～24Vのマイナスアース専用です。これ以外の接続は故障、火災の原因となります。</p>
	<p>車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける。車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因となります。</p>
	<p>コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因となります。</p>
	<p>車のアクセサリソケットに金属片など異物がないことを確認してから、電源プラグを差し込む。ショートして、故障、火災の原因となります。</p>
	<p>取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する。車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因となります。</p>
	<p>使用しないコードの先端などは、絶縁する。被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因となります。</p>
	<p>本機を運転の妨げになる場所や前方の視界を妨げる場所、エアバッグの動作の妨げになる場所に設置して使用しない。</p>
<p>禁止</p>	<p>運転に支障が生じ、交通事故を招くおそれがあります。またエアバッグが正常に作動しなかったり、動作したエアバッグでお客様が利用される機器などが破損したりしてケガをするおそれがあります。</p>
	<p>同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない。同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因となります。</p>



警告



禁止

取り付けの際は車両の保安部分のボルトやナットを絶対に使用しない。ステアリングやブレーキなど、保安部分のボルトやナットを使用して本機やコードなどを取り付けると、事故の原因となります。

キャップなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。あやまって、飲み込むおそがあります。万一飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

分解や改造はしない。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。



注意



禁止

高温になる場所などに取り付けない。直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる場合があります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない。雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になる場合があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない。傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になる場合があります。



警告

 実施	<p>実際の交通規制に従って走行する。運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。ナビゲーション画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。</p>
	<p>走行する前に、本機、吸盤スタンドがしっかりと固定してあることを確認する。事故の原因になったり、負傷の原因となります。</p>
	<p>万一、出火、発煙、臭異、高温などの異常な状態になった場合は、ただちに車を安全な場所に止め、使用を中止して必要な措置をとる。</p>
	<p>異物や水を本機に入れないように注意する。故障、火災の原因となります。</p>
	<p>必ず規定容量のヒューズを使用する。また、交換は専門技術者に依頼する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因となります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。</p>
 禁止	<p>ナビゲーション機能を自動車以外には使用しない。</p>
	<p>運転中は本機の操作、注視をしない。運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。必ず安全な場所に車を停止させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。</p>
	<p>故障や異常のまま使用しない。画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると、発火などの原因となります。直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。</p>
	<p>本機を救急施設などへの誘導用に使用しない。本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。必ず各施設に連絡をして、場所などの確認を行ってください。</p>
	<p>大きな音量で使用しない。車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因となります。</p>
<p>運転者は、走行中にヘッドホンを使用しない。外部の音が聞こえにくくなり、交通事故を招くおそれがあります。</p>	



警告

 禁止	コードは傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしない。ショートや断線により、発火や故障の原因となる場合があります。
	雷が鳴り出したら本機やコードに触れない。感電の原因となります。
	濡れた手で取り付け、操作しない。故障や感電して負傷するおそれがあります。



注意

 実施	長期間使用しない場合には、お車から取り外して直射日光の当たらない場所に保管する。
	林道などの未舗装路や岩場など条件の悪い場所での走行の際、吸盤スタンドおよび本機の破損や脱落を防ぐ為、一時的に吸盤スタンドより本機を取り外す。
	液晶ディスプレイは、必ず指で触れて操作する。
 禁止	強い衝撃を与えない。落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になる場合があります。
	吸盤スタンドに、必要以上の力を入れない。破損、ケガのおそれがあります。
	本機を車のエンジンが停止した状態で長時間使用しない。車のバッテリーが上がるおそれがあります。
	液晶ディスプレイは、先端が硬いもの（ボールペン、ピンなど）を使って操作しない。また、指でたいたり、強く押さえない。傷、破損、誤動作のおそれがあります。

使用上のご注意

ご使用になる前に必ず取扱説明書や注意事項などをよくお読みのうえ、正しく理解してからご使用ください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイは、必ず指で触れて操作してください。
- 液晶ディスプレイは、先端が硬いもの（ボールペン、ピンなど）を使って操作しないでください。また、指でたいたり、強く押さえないでください。傷、破損、誤動作の原因になります。
- 液晶ディスプレイに強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 本機を使用しない場合は、直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が長時間当たると高温になり、故障の原因になります。
- 極端に高温または低温になると、表示が遅くなったり、暗くなったりする場合があります。これは液晶ディスプレイの特性によるもので故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶ディスプレイに小さな点が出る場合とがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象で故障ではありません。
- 液晶ディスプレイの特性により、見る角度によっては表示が見づらい場合がありますが故障ではありません。

本機のお手入れについて

- 本体が汚れた場合は、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。
- 硬い布やぬれた雑巾は使用しないでください。
- アルコール、有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）、酸、アルカリ類は使用しないでください。
- 硬いものでこすったり、たいたりしないでください。

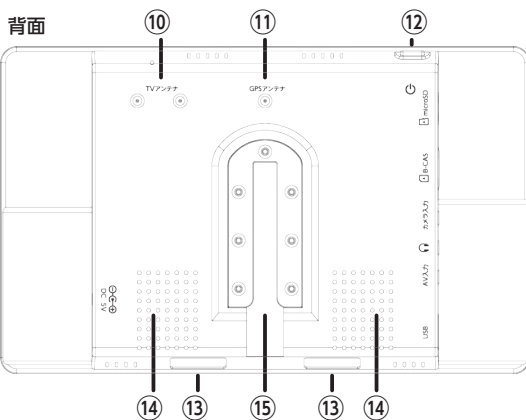
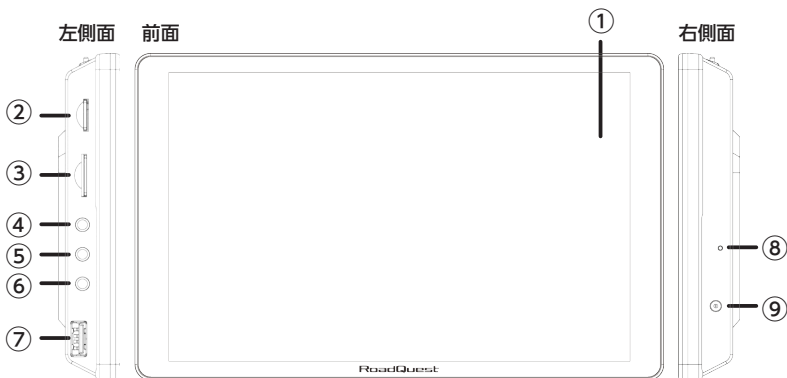
Wi-Fi モジュールについて

- 本機に搭載している Wi-Fi モジュールは、電波法に基づく技術基準適合証明および電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けています。
- 技術マークは、システム情報画面で確認します。システム情報画面は、メインメニューで[設定] → [システム情報] をタッチして表示します。

免責事項について

- 取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機のナビゲーション機能および地図データは、自動車での使用を前提に作られています。本来の使い方から逸脱した使用により生じた損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本機の誤使用や静電気などの電気的なノイズの影響を受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合の補償はできません。
- 本機の誤使用や静電気などの電気的なノイズの影響を受けた場合、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報が変化・消失した場合の補償はできません。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- 本機を業務目的に使用した場合の保証はできません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、プライバシー保護のため本機に登録または記録した個人情報は、お客様の責任において管理や消去を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。

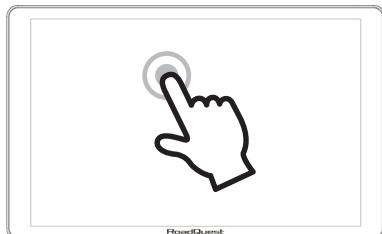
各部の名称とはたらきについて



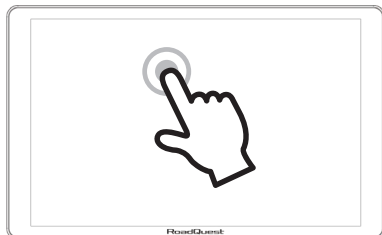
- ①：液晶ディスプレイ
- ②：マイクロ SD カード挿入口
マイクロ SD カードを挿入します。(→ 132 ページの「利用できる記録メディアについて」を参照)
- ③：miniB-CAS カード挿入口
付属の「miniB-CAS カード」を挿入します。(→ 127 ページの「miniB-CAS カードを入れる」を参照)
- ④：カメラ入力端子
オプションの「カメラケーブル」を接続します。(→ 144 ページの「バックカメラを接続する」を参照)
- ⑤：音声出力端子
市販のヘッドホンを接続します。
- ⑥：AV 入力端子
オプションの「AV ケーブル」を接続します。(→ 141 ページの「外部機器を接続 (AV 入力) する」を参照)
- ⑦：USB 端子
USB メモリーを挿入します。(→ 132 ページの「利用できる記録メディアについて」を参照)
- ⑧：電源ランプ
- ⑨：DC 入力 5V 端子
付属の「シガーソケットケーブル」またはオプションの「AC アダプタ」を接続します。
- ⑩：地上デジタル放送用アンテナ端子
付属の「地上デジタル放送用ロッドアンテナ」(→ 33 ページの「ロッドアンテナを取り付ける」を参照)またはオプションの「地上デジタル放送用外部アンテナ」を接続します。(→ 34 ページの「地上デジタル放送用外部アンテナを取り付ける」を参照)
- ⑪：GPS アンテナ端子
オプションの「外部 GPS アンテナ」を接続します。
- ⑫：電源ボタン
 - ・ 短押しは音声はそのまま、画面の OFF/ON をします。
 - ・ 長押しは電源の OFF/ON をします。
- ⑬：背面ラベル
モデル名、シリアル番号が記載されています。
- ⑭：スピーカー
- ⑮：吸盤スタンド取り付け口
付属の「吸盤スタンド」を取り付けます。(→ 28 ページの「本機を車に取り付ける」を参照)

タッチパネルの操作について

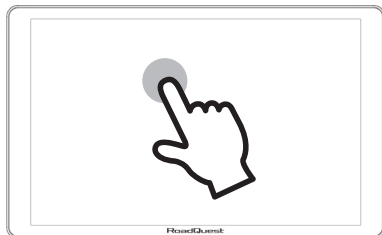
基本的な操作について



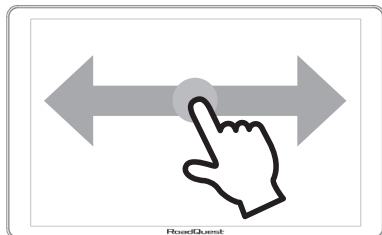
タッチ (タップ) :
画面上の任意の場所を指 1 本で軽く触れ、
すぐに指を離します。



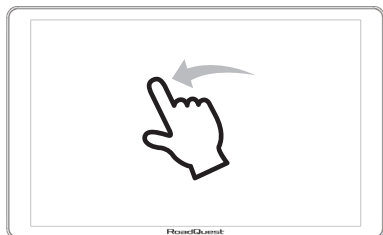
ダブルタップ :
画面上の任意の場所を素早く 2 回連続でタ
ップします。



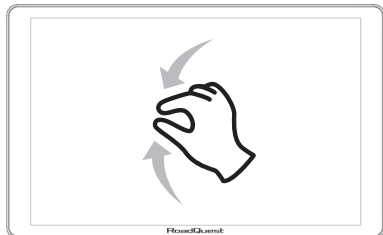
長押し :
画面上の任意の場所を指 1 本で押し続けま
す。



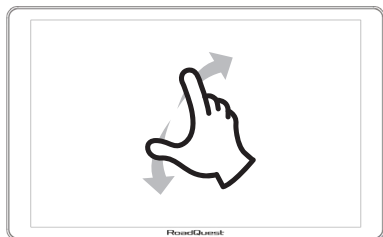
ドラッグ :
指を離さずに目的の場所まで動かして指を離
します。



フリック：
画面に触れ、指を払うように動かします。



ピンチイン（指を狭める）：
2本の指で画面を押さえ、摘むように指を近づけます。



ピンチアウト（指を広げる）：
2本の指で画面を押さえ、指を広げて遠ざけます。

リストのスクロール操作について



スクロールしたい方向にリストをドラッグします。



スクロールしたい方向にリストをフリックします。スクロール中にリストにタッチすると、スクロールが止まります。



[矢印アイコン] をタッチしてスクロールします。

※ [矢印アイコン] を長押しして、連続スクロールできるリストもあります。

音量スライダーの操作について



スライダーをドラッグして音量を調整します。



スライダーの任意の場所をタッチして音量を調整します。

現在地（自車位置）の測位について

現在地（自車位置）を測位するまでの時間について

以下のような場合は、現在地（自車位置）を測位するまで時間がかかる場合があります。現在地（自車位置）の測位に時間がかかる場合は、見晴らしの良い場所で、現在地（自車位置）の測位ができるまでは移動しないでください。

- ・ 初めてご使用になる場合。
- ・ 長期間ご使用にならなかった場合。
- ・ 前回終了時の場所から離れた場所に移動して、電源を入れた場合。
- ・ 地下駐車場など現在地（自車位置）が測位できない場所で終了して、電源を入れた場合。

現在地（自車位置）が測位できない環境について

- ・ 以下のような環境では、GPS 衛星からの電波が受信しにくくなり、現在地（自車位置）の測位ができない場合があります。
 - ・ トンネルの中
 - ・ ビル内の駐車場や地下駐車場
 - ・ 道路の下にある道路
 - ・ 高架下
 - ・ 高層ビルなどの間
 - ・ 樹木の間
 - ・ 曇り／雨などの悪天候
- ・ 本機を電波を送受信する機器（ETC 車載器、DSRC 車載器、レーダー探知機、他のナビゲーション機器など）の近くに取り付けている場合やパソコン、携帯電話を本機の近くでつかっている場合は、現在地（自車位置）の測位ができない場合があります。
- ・ 一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより、GPS 衛星からの電波が受信しにくくなり、現在地（自車位置）の測位ができない場合があります。

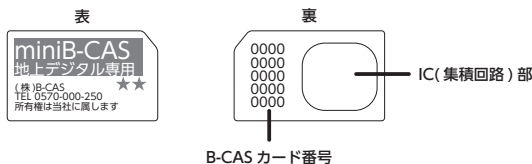
現在地（自車位置）の誤差について

- 以下のような走行条件では、現在地（自車位置）の位置や進行方向がずれる場合があります。
 - 角度の小さいY字路の走行
 - 直線や緩やかなカーブの長距離走行
 - S字の連続する道路の走行
 - 近くに似た形状の道路がある道路の走行
 - ループ橋などの走行
 - 基盤目状の道路の走行
 - 勾配の急な山道や高低差のある道路の走行
 - 地図データにない新規道路や形状が変わった道路の走行
 - 道路と側道が隣接している場合
 - 道路の下の道路の走行
 - 高架下の走行
 - 現在地（自車位置）の測位ができない状態が長く続いた場合
 - フェリーや車両運搬車などで移動した場合
 - 初めてご使用になった場合
 - 長期間ご使用にならなかった場合
 - 曇り／雨などの悪天候
- 本機を電波を送受信する機器（ETC 車載器、DSRC 車載器、レーダー探知機、他のナビゲーション機器など）の近くに取り付けている場合やパソコン、携帯電話を本機の近くでつかっている場合は、現在地（自車位置）の位置や進行方向がずれる場合があります。

地上デジタル放送について

- 本機は、地上デジタル放送(12セグ)およびワンセグ放送の受信に対応しています。
- 本機は、地上デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送には対応しておりません。
- 本機は、双方向データサービスには対応しておりません。
- ワンセグ放送は、地上デジタル放送のサービスのひとつで、携帯電話型受信機などの移動体でも安定して受信ができるように設計されたサービスです。地上デジタル放送波の一部を使って送っています。地上デジタル放送(12セグ)に比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは地上デジタル放送(12セグ)よりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。
- 地上デジタル放送では受信状況が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルテレビチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 電波を送受信する機器(ETC車載器、DSRC車載器、レーダー探知機、他のナビゲーション機器など)からなるべく離れた場所に取り付けてください。また、パソコンや携帯電話は、なるべく本機から離してご使用ください。これらの機器の近くで本機を使用すると、映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたりする場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 本機は、ARIB(電波産業会)規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

miniB-CAS カードについて



- miniB-CASカードは地上デジタル放送(12セグ)を受信するうえで必ず必要なカードです。
- 本機に付属の「miniB-CASカード」には1枚ごとに異なる番号(B-CASカード番号)が付与されています。
- B-CASカード番号は大切な番号です。「(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ B-CASカスタマーセンター」への問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。
- 地上デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにminiB-CASカードが必要です。
- miniB-CASカード取り扱い上の留意点
 - miniB-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
 - miniB-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
 - miniB-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
 - miniB-CASカードのIC(集積回路)部には手をふれないでください。
 - miniB-CASカードの分解加工は行わないでください。
 - miniB-CASカードはカード挿入口に正しく挿入してください。(→127ページの「miniB-CASカードを入れる」を参照)
 - 使用中にminiB-CASカードの抜き差しはしないでください。地上デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。
- miniB-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあり、無断で譲渡できません。
- miniB-CASカードの受信契約については、miniB-CASカードの台紙に記載されている事項やB-CASカード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
- miniB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送などの有料放送の視聴契約をすることはできません。
- miniB-CASカードを破損・紛失などされた場合は、お客様より「(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター」へお問い合わせください。カードの再発行には手数料がかかります。
- 本機の修理を依頼される場合は、本機よりminiB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。

miniB-CAS カードに関するお問い合わせ先について

miniB-CAS カードについてご不明な点は、以下へお問い合わせください。

(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ B-CAS カスタマーセンター

電話番号：0570-000-250

IP 電話：045-680-2868

受付時間：10:00～20:00(年中無休)

※お問い合わせの際には、カード裏面に記載された B-CAS カード番号(20桁の数字)をオペレーターにお知らせください。

取り付け

本機を車に取り付ける

取り付け位置について

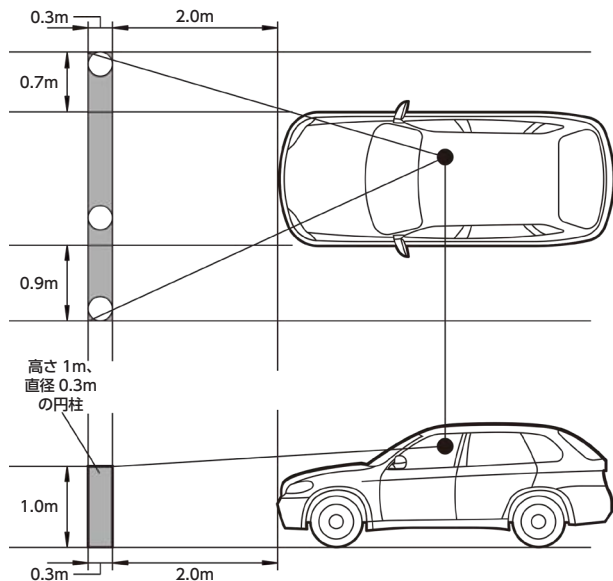
国土交通省の定める保安基準に適合させるため、運転者の視界を妨げないように、「前方視界について」、「直前直左視界について」に従って取り付けてください。

※保安基準とは、道路運送車両の保安基準における第 21 条および第 44 条で定める基準を言います。

前方視界について

自動車の前方 2m にある高さ 1m、直径 0.3m の円柱を鏡などを用いず直接確認できるように取り付けてください。

下図は右ハンドル車の例です。左ハンドルの場合は、左右逆になります。

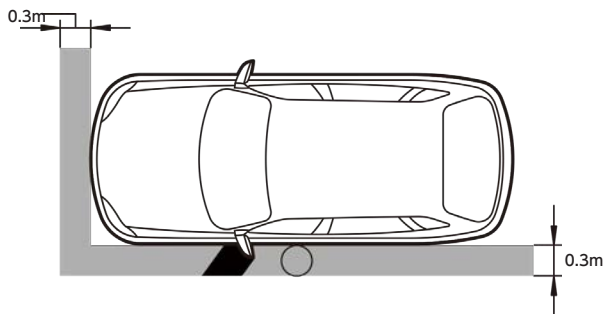





■ : 運転視界基準エリア

○ : 高さ 1m、直径 0.3m の円柱

直前直左視界について

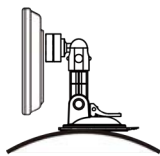
自動車の前面および左側面（左ハンドル車においては右側面）に接する高さ 1m、直径 0.3m の円柱を直接に、もしくは鏡、画像などにより間接に確認できるように取り付けてください。下図は右ハンドル車の例です。左ハンドルの場合は、左右逆になります。



-  : 運転視界基準エリア
-  : 高さ 1m、直径 0.3m の円柱
-  : 適用外エリア

取り付けについてのご注意

- ・ 前面ガラスおよび側面ガラス（運転者席の左右）への取り付けは、保安基準第 29 条に不適合となりますので、絶対におやめください。
- ・ エアバッグ作動時に影響がないように取り付けてください。
- ・ 吸盤スタンドは必ず吸盤スタンドベース板の上に取り付けてください。
- ・ 吸盤スタンドベース板は、布生地、革（合成皮革含む）、極端に目の粗いシボ面、塗装面、曲面、凹凸が大きい車種には貼り付けができません場合があります。
- ・ 必ずダッシュボードの平らな面にしっかり取り付け、安定させてください。
- ・ 以下のような場所には絶対に取り付けしないで下さい。吸盤スタンドが外れ落下するおそれがあります。



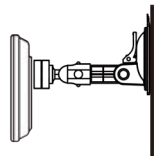
取り付け面が密着しない
曲面



約 30° 以上傾いた面



不安定な面



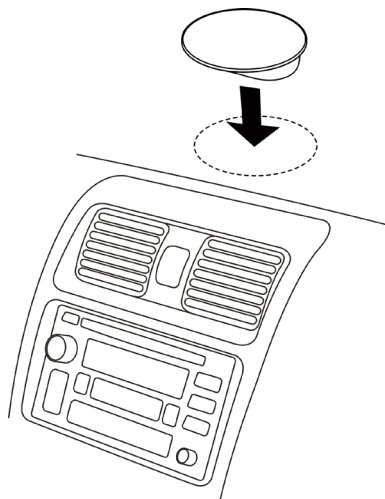
垂直な面

取り付け手順について

1 付属の「吸盤スタンドベース板」を貼り付けます。

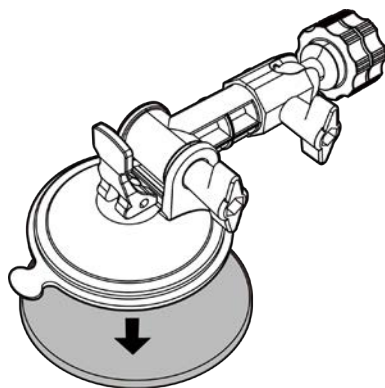
- ①：貼り付け場所のワックス、油、汚れなどをきれいに落としてください。
- ②：裏面のはくり紙をはがし、貼り付けてください。貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、吸盤スタンドベースのみの状態で放置してください。また、気温が低い(10℃以下)の場合は粘着力が低下します。低温時を避けて貼り付けてください。

※貼り付け場所の材質、色などによっては、剥がした際に貼り付け跡が目立ったり、粘着部分が残ったりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

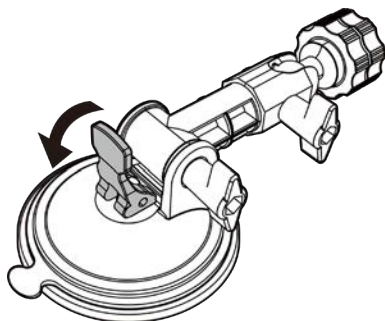


2 付属の「吸盤スタンド」を取り付けます。

- ①：吸盤スタンドベース板の上に仮置きします。

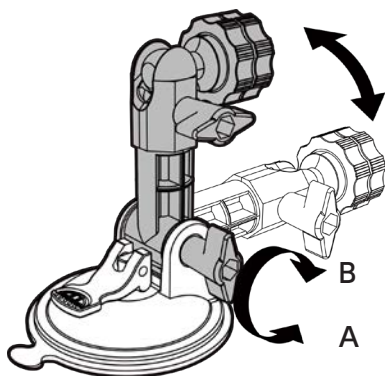


- ②：吸盤スタンド固定レバーを倒して固定します。



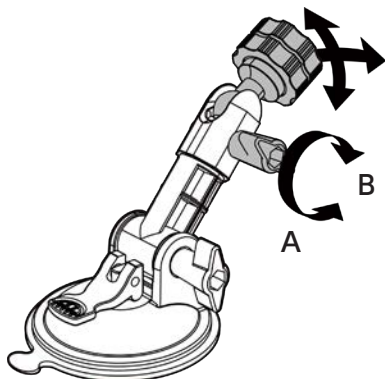
3 吸盤スタンドのアーム角度を調整します。

- ①：吸盤スタンドアームの止めネジを A の方向に回してゆるめます。
②：吸盤スタンドアームの角度を調整します。
③：吸盤スタンドアームの止めネジを B の方向に回して固定します。



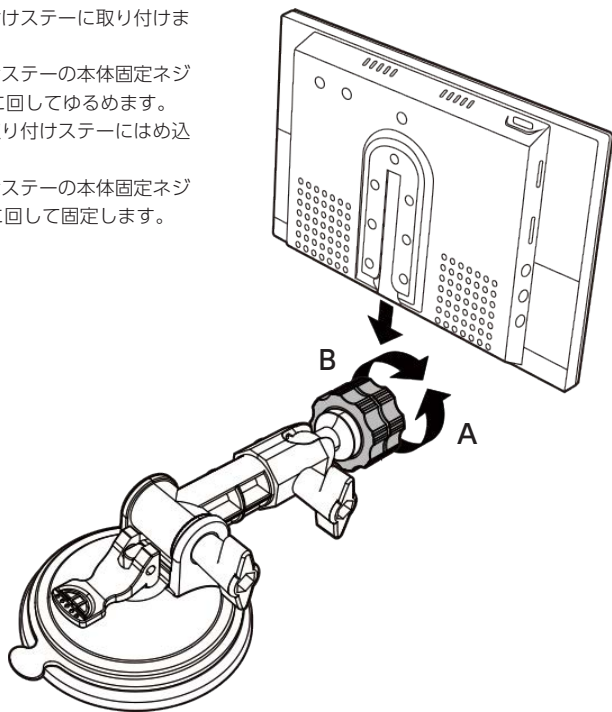
4 本体取り付けステーの角度を調整します。

- ①：本体取り付けステーの止めネジを A の方向に回してゆるめます。
- ②：本体取り付けステーの角度を調整します。
- ③：本体取り付けステーの止めネジを B の方向に回して固定します。



5 本体を本体取り付けステーに取り付けます。

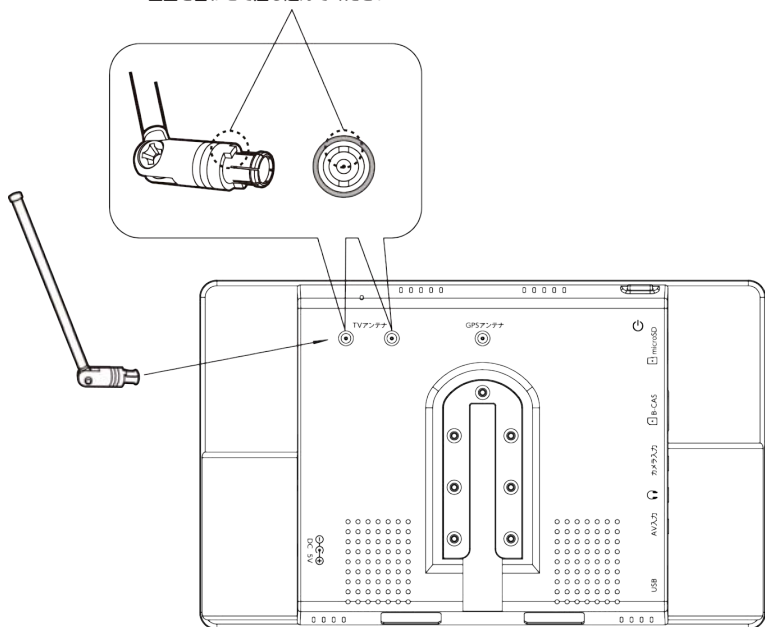
- ①：本体取り付けステーの本体固定ネジを A の方向に回してゆるめます。
- ②：本体を本体取り付けステーにはめ込みます。
- ③：本体取り付けステーの本体固定ネジを B の方向に回して固定します。



ロッドアンテナを取り付ける

付属の「地上デジタル放送用ロッドアンテナ」は、ロッドアンテナの凸とアンテナ接続端子の凹を合わせて差し込んでください。正しく差し込むとカチッと音がします。取り外す場合は、根元を持って引き抜いてください。

凹凸に合わせて差し込んでください

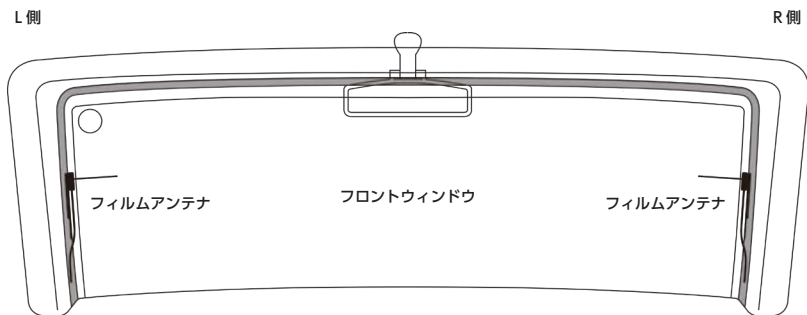


地上デジタル放送用外部アンテナを取り付ける

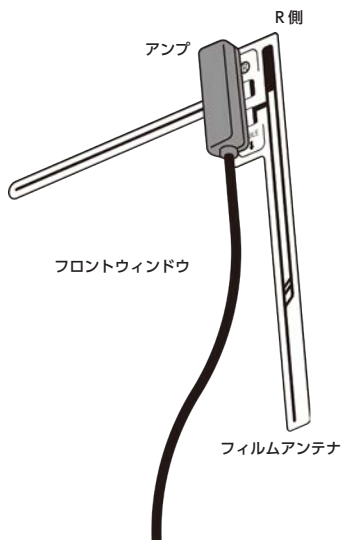
本機に地上デジタル放送用外部アンテナを取り付ける場合は、オプションの「地上デジタル放送用フィルムアンテナ」をご使用ください。指定外の地上デジタル放送用外部アンテナはご使用になれません。

フィルムアンテナについて

- フィルムアンテナは、以下のようにフロントウィンドウの内側に、左右それぞれ各1か所貼り付けます。



- フィルムアンテナは、フィルムアンテナ部とアンプ部分に分かれています。フィルムアンテナ部は、フロントウィンドウに貼り付けます。アンプ部は、フィルムアンテナ部に貼り付けます。

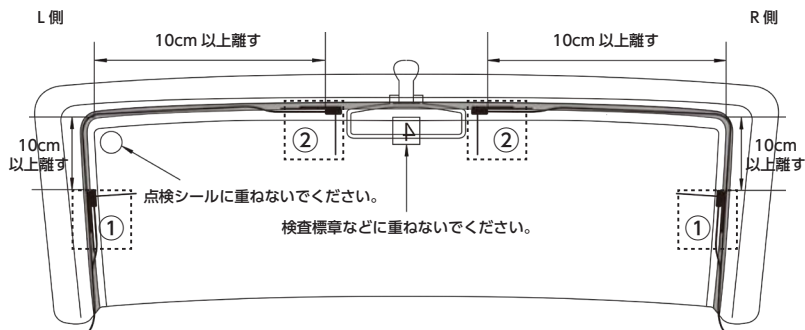


フィルムアンテナ取り付け時の注意点

- ・取り付けは、本書の記載に従って、必ずその範囲内に取り付けてください。(→ 36 ページの「フィルムアンテナの取り付け位置について」を参照)
- ・フィルムアンテナは、フロントウィンドウ貼り付け専用です。フロントウィンドウ以外の場所には貼り付けしないでください。
- ・運転操作の妨げになるところに配線しないでください。また、配線したケーブルは、運転操作の妨げにならないように束ねてください。
- ・フィルムアンテナの貼り付け、ケーブルの配線などを行うには専門技術が必要になる場合があります。安全のため、専門業者にご相談することをおすすめします。お客様ご自身で行う場合には、安全に十分な注意を払い、自己責任において作業を行なってください。
- ・フィルムアンテナは、貼り直しができません。左右の貼り間違いや貼り付け位置の間違いないようご注意ください。
- ・フィルムアンテナを貼る前に必ずアンテナ、ケーブルを仮止めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- ・フィルムアンテナは、繊細な構造になっています。折り曲げたり傷をつけないように慎重にお取り扱いください。
- ・フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルを揮発性の液体（アルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど）を使用して拭かないでください。
- ・車種や使用条件によっては、取り付けられない場合や性能が発揮できない場合があります。
 - ・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下する場合があります。
 - ・ミラーフィルム、蒸着フィルムなどの電波不透過フィルムを施行したガラスの場合には、受信感度が極端に低下する場合があります。
- ・エアバッグをピラーに搭載しているお車には、取り付けが困難な場合があります。

フィルムアンテナの取り付け位置について

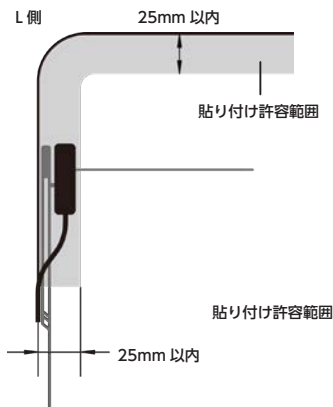
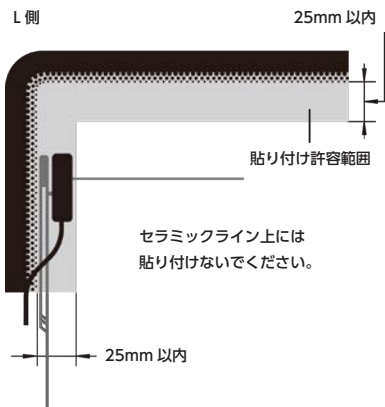
- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、運転者の視界を妨げないように、以下に従って取り付けてください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準における第 29 条第 4 項第 6 号に対する、平成 15 年 9 月 26 日付けの運輸省（現、国土交通省）令第 95 号をいいます。
- 前方視界の妨げになる場所、運転操作の妨げになる場所、エアバックなどの安全装置の作動に影響のある場所、同乗者に危険をおよぼすような場所には絶対に取り付けしないでください。
- 他のフィルムアンテナなどに重ならないように、①か②のいずれかの位置に取り付けてください。（L 側、R 側の各 1 か所）



アンテナの貼り付け許容範囲について

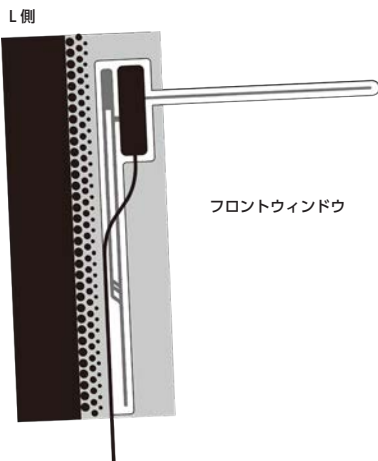
セラミックラインのある車両

セラミックラインのない車両

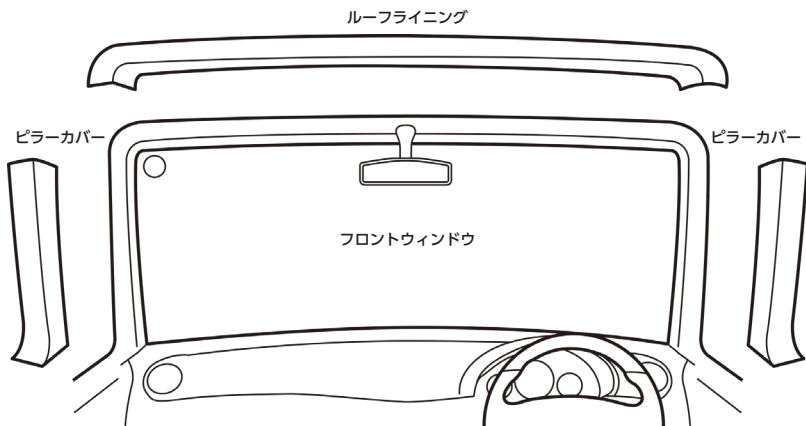


フィルムアンテナの取り付け手順について

- 1 フィルムアンテナの取り付け位置を決めます。(→ 36 ページの「フィルムアンテナの取り付け位置について」を参照)

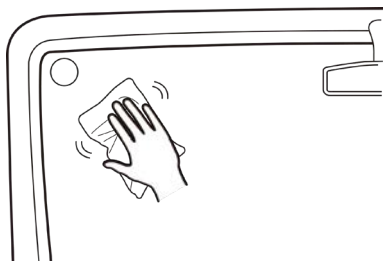


- 2 ケーブルの配線のために、車内の内張り（ピラーやルーライニングなど）を取り外します。
- ※必ず内張りを取り外さなければならない訳ではありません。配線方法やお車の形状などに応じてお客様ご自身でご判断ください。
- ※お客様ご自身で、内張りの取り外しや再取り付けができることをご確認の上、作業を行なってください。作業が難しい場合は、専門業者にご相談ください。



3 フロントウィンドウ内側の貼り付け位置をきれいにします。

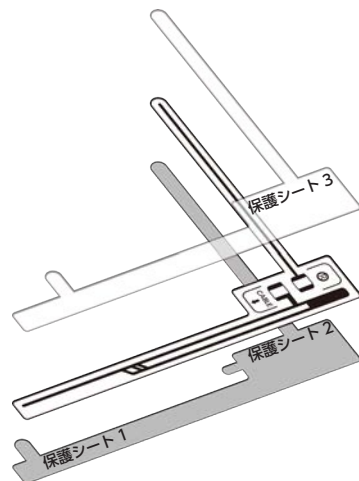
薄めた中性洗剤を塗布した布などで貼り付け位置のゴミ、ホコリなどの汚れを拭き落としてください。



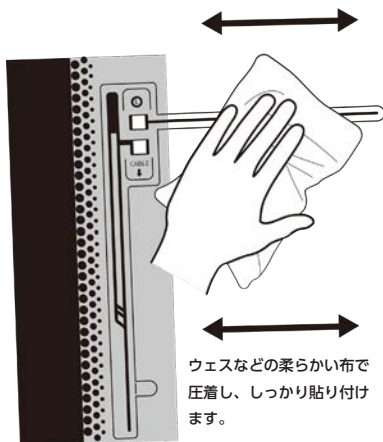
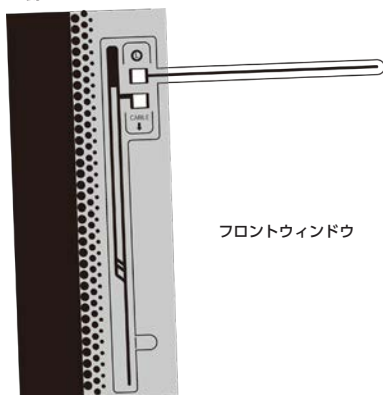
4 フロントウィンドウにフィルムアンテナを貼り付けます。

- ①：フィルムアンテナの保護シート 1 と 2 をはがします。
- ②：フィルムアンテナをフロントウィンドウに丁寧に貼り付けます。
- ③：貼り付けた後、ウェスなどの柔らかい布で図のように圧着し、しっかり貼り付けます。

※保護シート 3 は、フィルムアンテナを貼り付けた後、アンプを貼り付ける時にはがします。



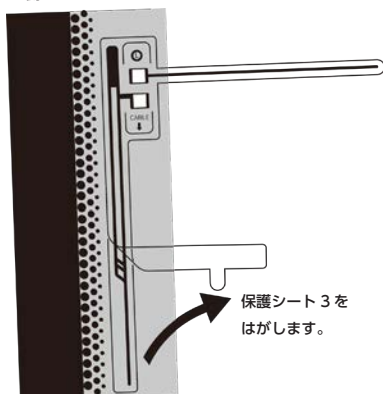
L側



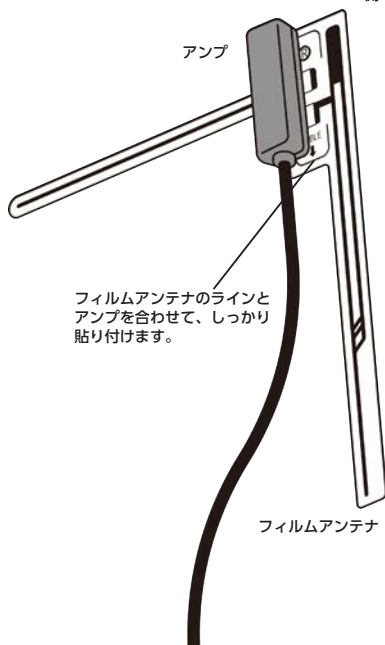
5 フィルムアンテナにアンプを貼り付けます。

- ①：フィルムアンテナの保護シート3をはがします。
- ②：アンプの保護シートをはがします。
- ③：フィルムアンテナのラインとアンプを合わせて、しっかり貼り付けます。

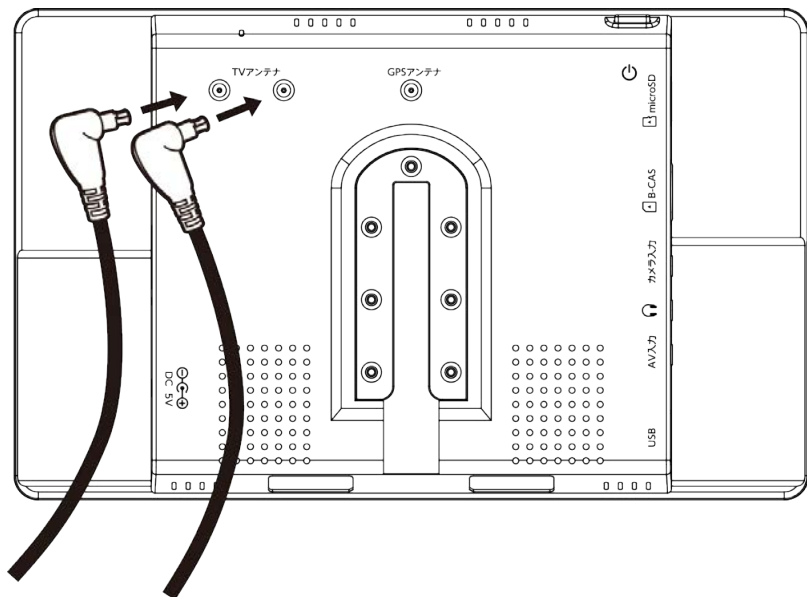
L側



R側



- 6 フィルムアンテナの貼り付けとケーブルの配線が終わったら、車内の内張り（ピラーやルーフライニングなど）を取り付けます。
- 7 本体背面の地上デジタル放送用アンテナ端子にフィルムアンテナのケーブル端子を接続します。

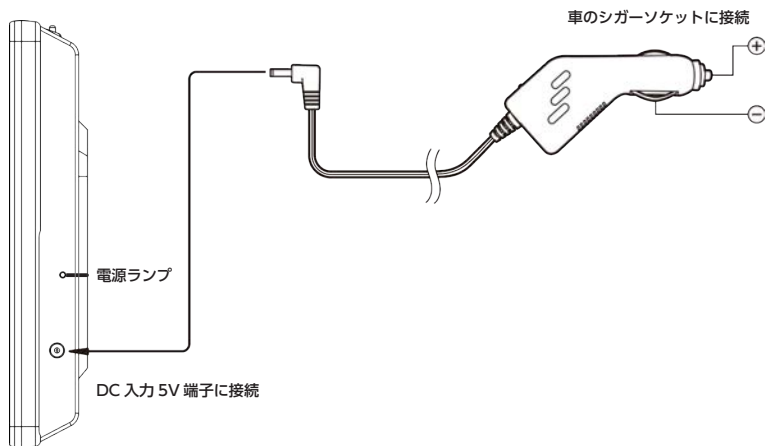


起動とメインメニュー

電源を ON/OFF する

電源を ON する

- 1 付属の「シガーソケットコード」を本体の DC 入力 5V 端子と車のシガーソケット（アクセサリーソケット）に接続します。



- 2 車のエンジンを ON します。エンジンキーに連動して本機の電源が ON します。電源が ON すると、本体の電源ランプが点灯します。

電源を OFF する

車のエンジンを OFF します。エンジンキーに連動して本機の電源が OFF します。

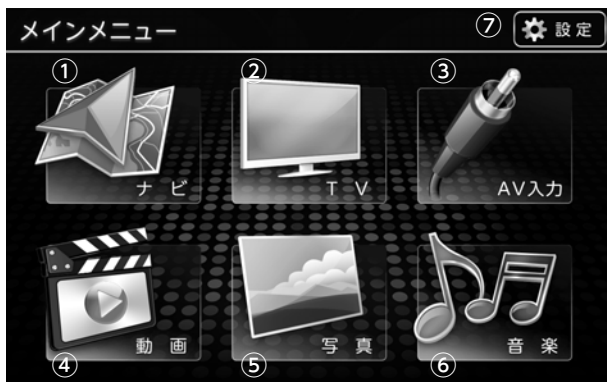
※車のエンジンを OFF しても本機の電源が OFF されない車種の場合は、シガーソケットコードをシガーソケット（アクセサリーソケット）から抜いてください。

画面表示を OFF/ON する

本体上部の電源ボタンを短押しすると、音声はそのまま、画面の OFF/ON をします。

メインメニューについて

本機の電源を ON すると、メインメニューが表示されます。
メインメニューからナビやテレビなどを起動します。



起動と
メイン
メニュー

- ①：[ナビ]
ナビを起動します。(→ 48 ページの「ナビを起動/終了する」を参照)
- ②：[TV]
テレビを起動します。(→ 126 ページの「テレビを視聴する」を参照)
- ③：[AV 入力]
本機に接続した外部機器の入力に切り替えます。(→ 141 ページの「外部機器を接続 (AV 入力) する」を参照)
- ④：[動画]
動画プレーヤーを起動します。(→ 136 ページの「動画を再生する」を参照)
- ⑤：[写真]
フォトビューアーを起動します。(→ 139 ページの「写真を表示する」を参照)
- ⑥：[音楽]
音楽プレーヤーを起動します。(→ 133 ページの「音楽を再生する」を参照)
- ⑦：[設定]
画面の明るさ、スタート画面などの各種システム設定をします。(→ 44 ページの「各種システム設定をする」を参照)

各種システム設定をする

システム設定する

タッチ音の音量、画面の明るさなどを設定します。

- 1 メインメニューで [設定] → [システム設定] をタッチします。



- 2 システム設定内容を変更します。
[決定] をタッチして設定を保存します。



- ①：画面明るさ(昼)
②：画面明るさ(夜)
昼間と夜間それぞれの画面の明るさを設定します。
※ 4月～9月は 18:00～翌6:00、
10月～3月は 17:00～翌7:00が
夜間になります。
- ③：タッチ音
タッチ音の音量を調整します。
- ④：バックカメラ ON/OFF
ON に設定すると、バックカメラ信号が入力された場合に自動的にバックカメラ画像に切り替えます。

スタート画面を設定する

起動時に表示する画面を設定します。

- 1 メインメニューで [設定] → [スタート画面設定] をタッチします。



- 2 起動時に設定したい画面をタッチして選択します。
[決定] をタッチして設定を保存します。



- 内容変更後、必ず [決定] をタッチして設定を保存してください。

システム情報を見る

システムバージョンなどのシステム情報を確認します。

- 1 メインメニューで [設定] → [システム情報] をタッチします。



- 2 システム情報が表示されます。
※以下のシステム情報は、製品の表示内容と異なります。



工場出荷時に戻す

ナビ以外の各種システムの設定内容を工場出荷時に戻します。

- 1 メインメニューで [設定] → [システム情報] をタッチします。



- 2 [工場出荷に戻す] をタッチします。



- 3 確認メッセージが表示されます。[はい] をタッチします。
ナビ以外の各種システムの設定内容を工場出荷時に戻します。
ナビの初期化は、ナビ内で行ってください。(→ 112 ページの「ナビデータを初期化する」を参照)

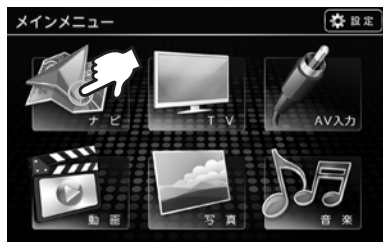
ナビの基本操作

ナビの
基本操作

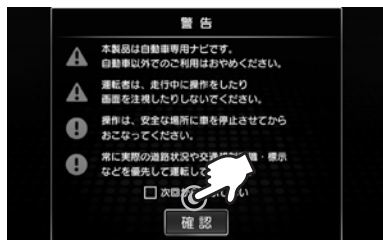
ナビを起動／終了する

ナビを起動する

- 1 メインメニューで [ナビ] をタッチします。



- 2 警告画面が表示されます。内容をよくお読みください。
[確認] をタッチします。



- 3 地図が表示されます。GPS 電波の受信後、現在地が表示されます。

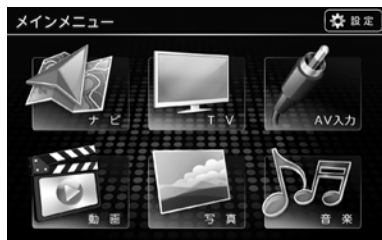


ナビを終了する

- 1 [メニュー] → [終了] をタッチします。



- 2 ナビが終了し、メインメニューが表示されます。



ナビメニューについて

地図で [メニュー] をタッチしてナビメニューを表示します。



- ①: [目的地検索]
さまざまな方法で行き先を検索します。
(→ 66 ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)
- ②: [ルート編集]
目的地、出発地、経由地、ルート計算方法を設定して、ルート探索を開始します。
(→ 83 ページの「ルートを編集してルート探索を開始する」を参照)
- ③: [登録ルート]
登録ルートからルートを設定します。
(→ 104 ページの「登録ルートからルートを設定する」を参照)
- ④: [登録情報]
登録地点や検索履歴などの登録情報を管理します。(→ 105 ページの「登録情報を管理する」を参照)
- ⑤: [GPS 情報]
GPS 情報を表示します。(→ 110 ページの「GPS 情報を見る」を参照)
- ⑥: [ナビ設定]
地図の表示内容やルート計算方法などのナビの各種設定をします。(→ 94 ページの「ナビの各種設定をする」を参照)
- ⑦: [システム情報]
ナビシステムのバージョン情報を表示します。(→ 111 ページの「ナビシステム情報を見る」を参照) また、ナビデータの初期化をします。(→ 112 ページの「ナビデータを初期化する」を参照)
- ⑧: [Wi-Fi]
Wi-Fi を設定します。
- ⑨: [終了]
ナビを終了します。
- ⑩: [現在地]
地図 (現在地表示) に戻ります。

地図（現在地表示）について

地図（現在地表示）の表示内容について



①： 自車位置アイコン

現在地と進行方向を表示します。GPS電波を受信している場合は赤色、していない場合は灰色で表示します。ナビ設定で画面中央に表示するか、画面下に表示するかを設定します。（→95ページの「地図の表示内容を設定する」を参照）

②： 前方交差点のレーン情報

前方交差点のレーン情報を表示します。

③： GPS / みちびき電波受信状態

GPS およびみちびき電波の受信状態を表示します。電波を受信している場合は青色、していない場合は灰色で表示します。

④： 地図スケール

現在の地図スケールを表示します。（→56ページの「地図を拡大／縮小する」を参照）

⑤： 道路名／行政名

走行している道路名と住所を交互表示します。
※名称が表示されない道路もあります。

⑥： 時刻

GPS 衛星から取得した時刻を表示します。

⑦： Wi-Fi 接続状態

Wi-Fi 接続状態を表示します。

地図（現在地表示）のボタンについて



- ①：[メニュー]
ナビメニューを表示します。（→ 49 ページの「ナビメニューについて」を参照）
- ②：[方位／地図方向アイコン]
地図の方位を表示します。タッチして地図方向を切り替えます。（→ 57 ページの「地図方向を変更する」を参照）
- ③：[広域] / [詳細]
地図のスケールを変更します。（→ 56 ページの「地図を拡大／縮小する」を参照）
- ④：[AV]
AVメニューを表示します。（→ 58 ページの「ナビと AV 機能を分割表示する」を参照）
- ⑤：[ミュートアイコン]
音量をミュート（消音）します。
- ⑥：[音量アイコン]
音量を調整します。
- ⑦：[自宅登録]
現在地を自宅として登録します。（→ 102 ページの「自宅を登録する」を参照）
- ⑧：[地点登録]
現在地を地点登録します。（→ 103 ページの「地点を登録する」を参照）
- ⑨：[周辺検索]
現在地周辺にある施設をジャンルを指定して検索します。
- ⑩：[道路切替]
自転車位置を別の道路に切り替えます。（→ 92 ページの「道路切り替えについて」を参照）
- ⑪：[ボタン非表示] / [ボタン表示]
画面上のボタンを非表示／表示します。
※一部非表示にならないボタンがあります。

地図表示記号について

地図アイコン（例）

	都道府県庁舎		博物館
	市役所・特別区庁舎		銀行
	町村役場・政令指定都市区役所庁舎		信用金庫
	官公署・市町村役場支所（出張所）		飛行場・空港
	消防署（含む：分署・支署・出張所）		港
	自衛隊		フェリーターミナル
	学校		ファミリーレストラン
	病院		山頂
	警察署・交番・駐在所		工場
	図書館		交差点
	海水浴場・（湖水、池）水泳場		サービスエリア
	デパート・スーパー・ショッピング施設		パーキングエリア
	ホテル・旅館・宿泊施設		インターチェンジ
	史跡・旧跡、観光名所		ジャンクション
	神社		料金所
	城・天守閣		ランプ（出入口）
	寺院（仏閣、地蔵）		ランプ（出口専用）
	教会		駐車場
	城跡		サッカースタジアム
	美術館		墓地

	冬季通行止め		スタジアム
	JRA 競馬場・ウインズ		郵便局
	給油・給電		カー用品店
	展望タワー		運動施設
	動物園		公園
	植物園		マリナー
	水族館		大学
	ゴルフ場		短大
	温泉		高専
	スキー場		高校
	遊園地		中学校
	テーマパーク		小学校
	キャンプ場		その他目標施設

3D アイコン (例)

日本全国の名所を 3D アイコンで地図上に表示します。

※以下の 3D アイコンは一例です。



東京ドーム



札幌プリンス
ホテルタワー



日本武道館



OAP タワー



ユニバーサル・
スタジオ・ジャパン



小峰城



茨城県立カシマ
サッカースタジアム



とちち帯広空港



さっぽろテレビ塔



フォレストタワー

地図（スクロール中）について



- ①：スクロールカーソル
- ②：[家形アイコン]
家形表示を変更します。（→ 56 ページの「地図の家形表示を変更する」を参照）
- ③：[地図角度アイコン]
地図の表示角度を変更します。（→ 57 ページの「地図の表示角度を変更する」を参照）
※ [地図角度アイコン] は、3Dビューのみ表示されます。
- ④：[地図回転アイコン]
地図を回転します。（→ 56 ページの「地図を回転する」を参照）
- ⑤：[クイックルート]
現在地からスクロールカーソル位置までをルート探索して、案内を開始します。（→ 88 ページの「ルート案内について」を参照）
- ⑥：[ルート探索]
現在地からスクロールカーソル位置までをルート探索します。（→ 86 ページの「ルートを確認して案内を開始する」を参照）
- ⑦：[自宅登録]
スクロールカーソル位置を自宅として登録します。（→ 102 ページの「自宅を登録する」を参照）
- ⑧：[地点登録]
スクロールカーソル位置を地点登録します。（→ 103 ページの「地点を登録する」を参照）
- ⑨：[周辺検索]
スクロールカーソル位置周辺にある施設をジャンルを指定して検索します。
- ⑩：地名表示
スクロールカーソル位置付近の住所／交差点名／施設名を表示します。

地図を操作する

地図をスクロールする

地図スクロールは、ドラッグ・フリックとタップ・ホールドの2種類があります。スクロールタイプは、ナビ設定で変更します。(→ 95 ページの「地図の表示内容を設定する」を参照)

ドラッグ・フリック

地図をドラッグして表示したい箇所に移動します。

また、フリックで地図を表示したい方向に素早く移動します。(→ 18 ページの「タッチパネルの操作について」を参照)



ナビの
基本操作

タップ・ホールド

地図をタッチしてタッチした地点を画面の中心に移動します。

また、スクロールしたい方向の地図を長押しして連続で地図をスクロールします。(→ 18 ページの「タッチパネルの操作について」を参照)



地図を拡大／縮小する



地図上の「拡大」／「縮小」をタッチして地図を拡大／縮小します。ボタンを長押しして連続で拡大／縮小します。

地図を回転する



地図上の「回転アイコン」をタッチして地図を回転します。



カーソルを中心に地図が左回転（時計まわり）します。



カーソルを中心に地図が右回転（反時計まわり）します。

地図の家形表示を変更する



「家形アイコン」をタッチして地図の家形の表示方法を変更します。



家形（高さあり）を表示します。



家形（高さなし）を表示します。



家形を表示しません。

地図の表示角度を変更する



地図上の「地図角度アイコン」をタッチして地図の表示角度を変更します。

※表示角度の変更は、3Dビューのみ変更できます。



表示角度を上げます。



表示角度を下げます。

地図方向を変更する

地図上の「方位/地図方向アイコン」をタッチして地図方向を変更します。



ヘディングアップ (進行方向)

常に走行方向が画面の上を向くように進行方向に対応して地図の向きを変化させます。



ノースアップ (北上固定)

常に北の方向が画面の上になるように地図を表示します。



3Dビュー

地図を鳥瞰視点で表示します。地図方向はヘディングアップと同様に、常に走行方向が画面の上を向くように進行方向に対応して地図の向きを変化させます。

ナビと AV 機能を分割表示する

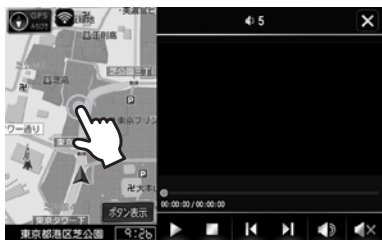
- 1 地図で [AV アイコン] をタッチします。



- 2 AV メニューが表示されます。該当 AV 機能をタッチします。



- 3 ナビ画面と AV 画面が同時に分割表示されます。
ナビ画面をダブルタップすると、ナビ画面を全画面表示します。
※地図以外のナビ画面は、全画面表示されません。



- 4 ナビ画面が全画面で表示されます。
AV 機能は音声だけになります。
実行中の AV 機能がアイコンで表示されます。
[AV アイコン] をタッチすると、分割表示に戻ります。



-  [TV アイコン]
-  [動画アイコン]
-  [音楽アイコン]
-  [AV 入力アイコン]

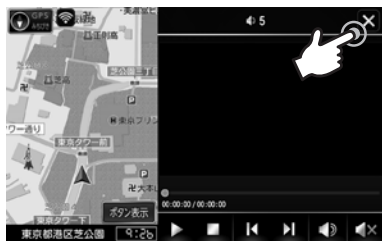
- 5 AV 画面の中央付近をダブルタップすると、AV 画面を全画面表示します。



- 6 AV画面が全画面で表示されます。
ナビ機能は音声だけになります。
[ナビアイコン] をタッチすると、分割表示に戻ります。



- 7 AV画面で [×アイコン] をタッチすると、AV機能が終了してナビ画面が全画面表示されます。



- ナビとAV機能を同時に実行している場合は、ナビの音声出力時にAV機能の音声はミュート（消音）されます。
AV機能の音声をミュート（消音）したくない場合は、ナビの[ミュートアイコン]をタッチしてナビの音声をミュート（消音）してください。

ナビ画面の共通操作について

現在地に戻る

- 1 各画面の [現在地] をタッチします。



- 2 地図 (現在地表示) に戻ります。



一つ前の画面に戻る

- 1 各画面の [戻る] をタッチすると、一つ前の画面に戻ります。



リストをスクロールする

- 1 リストのスクロールは、スクロールしたい方向にリストをドラッグするか、スクロールしたい方向にリストをフリックします。(→ 20 ページの「リストのスクロール操作について」を参照)



- 2 [矢印アイコン] をタッチしてページ送ります。長押しすると、連続でページ送ります。



文字入力キーボードについて

施設名検索や駅名検索などで、入力が必要なときは、文字入力キーボードが表示されます。文字入力キーボードは、ナビ専用キーボード、システム標準キーボードの2種類があります。キーボードの切り替えは、各種入力画面の【キーボード切替】をタッチするか、ナビ設定で行います。(→95ページの「地図の表示内容を設定する」を参照)
※システム標準キーボードのみ漢字入力が可能です。

システム標準キーボード



ひらがな入力モード



英字入力モード

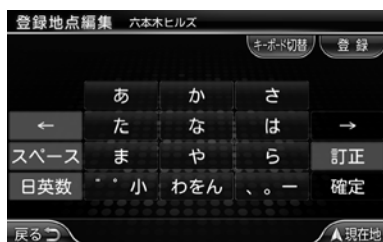


数字入力モード

ナビ専用キーボード

標準

【日英数】をタッチすると、入力モードが、ひらがな→カタカナ→英字→数字の順に変わります。



ひらがな入力モード

【あ】【か】【さ】... それぞれをタッチすると、その行の文字が順に表示されます。

【だ】【ば】などの濁音、半濁音は、ひらがなを入力した後に、【'】【°】をタッチします。

【ゃ】【ゅ】など小さい文字は、ひらがなを入力した後に、【小文字】をタッチします。

【←】【→】でカーソルを移動します。

【確定】で入力文字を確定させます。一定時間経過、次の文字の入力でも入力文字は確定します。【訂正】で1文字ずつ消去します。

カタカナ入力モード



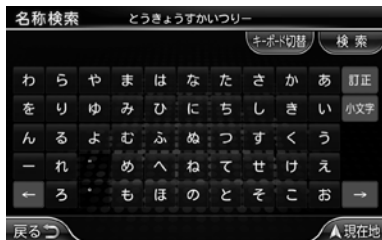
英字入力モード



数字入力モード



ひらがな専用



数字専用



「だ」「ば」などの濁音、半濁音は、ひらがなを入力した後に、「^ん」「^ゝ」をタッチします。「や」「ゆ」など小さい文字は、ひらがなを入力した後に、「小文字」をタッチします。
[←] [→] でカーソルを移動します。
[訂正] で1文字ずつ消去します。

[←] [→] でカーソルを移動します。
[訂正] で1文字ずつ消去します。

行き先を探す

行き先を
探す

さまざまな方法で行き先を探す

[メニュー] → [目的地検索] をタッチして目的地検索メニューを表示します。メニューに表示されるさまざまな方法を使って、目的地、経由地、出発地を検索します。



- ①：[目的地履歴]
目的地履歴から行き先を探します。
(→ 68 ページの「目的地履歴から探す」を参照)
- ②：[検索履歴]
検索履歴から行き先を探します。
(→ 69 ページの「検索履歴から探す」を参照)
- ③：[自宅]
登録された自宅を行き先にします。
(→ 70 ページの「自宅を行き先にする」を参照)
- ④：[登録地点]
登録地点から行き先を探します。
(→ 71 ページの「登録地点から探す」を参照)
- ⑤：[周辺検索]
現在地周辺の施設から行き先を探します。
(→ 72 ページの「周辺施設から探す」を参照)
- ⑥：[名称]
施設名から行き先を探します。(→ 73 ページの「施設名から探す」を参照)
- ⑦：[住所]
住所から行き先を探します。(→ 74 ページの「住所から探す」を参照)
- ⑧：[ジャンル]
施設のジャンルから行き先を探します。
(→ 75 ページの「施設のジャンルから探す」を参照)
- ⑨：[電話番号]
電話番号から行き先を探します。
(→ 75 ページの「施設のジャンルから探す」を参照)
- ⑩：[駅名]
駅名から行き先を探します。(→ 77 ページの「電話番号から探す」を参照)
- ⑪：[地図]
地図から行き先を探します。(→ 79 ページの「地図から探す」を参照)
- ⑫：[緯度経度]
緯度と経度から行き先を探します。
(→ 80 ページの「緯度と経度から探す」を参照)

検索地点周辺地図について

目的地検索メニューに表示されるさまざまな方法を使って、目的地、経由地、出発地を検索すると、検索地点周辺の地図が表示されます。

行き先が検索地点から離れている場合は、地図をスクロールさせて調整します。



①：[クイックルート]

現在地から探した地点までをルート探索して、案内を開始します。（→ 88 ページの「ルート案内について」を参照）

②：[ルート探索]

現在地から探した地点までのルート探索を開始します。（→ 82 ページの「ルート探索を開始する」を参照）

③：[自宅登録]

探した地点を自宅として登録します。（→ 102 ページの「自宅を登録する」を参照）

④：[地点登録]

探した地点を地点登録します。（→ 103 ページの「地点を登録する」を参照）

⑤：[周辺検索]

探した地点の周辺にある施設をジャンルを指定して検索します。



- ルート編集時は、[クイックルート]、[ルート探索] は表示されずに、[目的地] / [出発地] / [経由地] が表示されます。それぞれのボタンをタッチして探した地点を目的地/出発地/経由地にします。



- クイックルートではすぐに案内が開始されます。（→ 88 ページの「ルート案内について」を参照）

目的地履歴から探す

目的地履歴から行き先を探します。

※目的地履歴は最大 500 件まで保存されます。

- 1 [メニュー] → [目的地検索] → [目的地履歴] をタッチします。



- 2 目的地履歴リストから該当の目的地履歴をタッチします。



- ① ② ③

- ①: [日時順]

目的地履歴を日付の新しい順に並べ替えます。

- ②: [頻度順]

目的地履歴を利用頻度が高い順に並べ替えます。

- ③: [削除]

目的地履歴削除画面を表示します。
(→ 108 ページの「目的地履歴を削除する」を参照)

- 3 選択した目的地履歴地点周辺の地図が表示されます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)



検索履歴から探す

検索履歴から行き先を探します。

※検索履歴は最大 500 件まで保存されます。

- 1 [メニュー]→[目的地検索]→[検索履歴]をタッチします。



- 2 検索履歴リストから該当の検索履歴をタッチします。



- ① ② ③

- ①: [日時順]
検索履歴を日付の新しい順に並べ替えます。
- ②: [頻度順]
検索履歴を利用頻度が高い順に並べ替えます。
- ③: [削除]
検索履歴削除画面を表示します。
(→ 108 ページの「検索履歴を削除する」を参照)

- 3 選択した検索履歴地点周辺の地図が表示されます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)



自宅を行き先にする

自宅を行き先にします。(→ 102 ページの「自宅を登録する」を参照)

- 1 [メニュー] → [目的地検索] → [自宅] をタッチします。



- 2 自宅周辺の地図が表示されます。
(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)



登録地点から探す

登録地点から行き先を探します。(→ 103 ページの「地点を登録する」を参照)

- 1 [メニュー]→[目的地検索]→[登録地点]をタッチします。



- 2 登録地点リストから該当の登録地点をタッチします。



① ② ③

- ①: [登録順]
登録地点を登録日付の新しい順に並べ替えます。
- ②: [アイコン順]
登録地点をアイコン種類別に並べ替えます。
- ③: [編集]
登録地点編集画面を表示します。
(→ 105 ページの「登録情報を管理する」を参照)

- 3 選択した登録地点周辺の地図が表示されます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)



周辺施設から探す

現在地周辺の施設から行き先を探します。

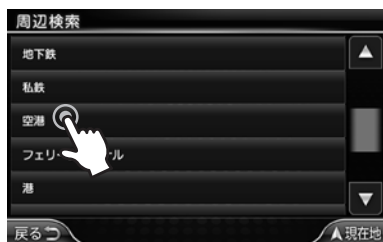
- 1 [メニュー]→[目的地検索]→[周辺検索]をタッチします。



- 2 ジャンルリスト (大分類) から該当のジャンルをタッチします。



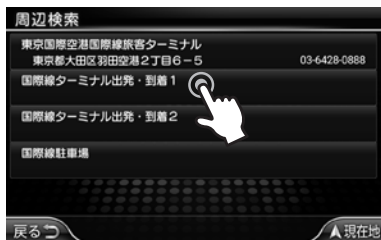
- 3 ジャンルリスト (小分類) から該当のジャンルをタッチします。



- 4 検索結果が表示されます。リストから該当の施設をタッチします。



- 5 選択した施設に出入口情報がある場合、出入口リストが表示されます。リストから該当の出入口をタッチします。



- 6 選択した施設周辺の地図が表示されます。(→67ページの「検索地点周辺地図について」を参照)



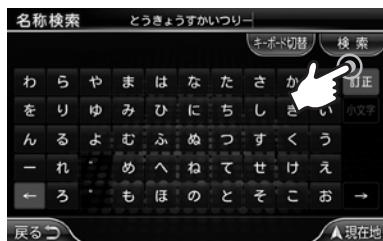
施設名から探す

施設名から行き先を探します。

- 1 [メニュー] → [目的地検索] → [名称] をタッチします。



- 2 施設名を入力します。入力、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ 61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照) 入力完了後、[検索] をタッチします。
※検索は前方一致で行います。



- ナビ専用キーボードは、ひらがなで名称を入力します。システム標準キーボードは、漢字での名称入力が可能です。

- 3 検索結果が表示されます。リストから該当の施設をタッチします。



- ① ② ③

- ①: [50音順] 検索結果を50音順に並べ替えます。
- ②: [距離順] 検索結果を距離の近い順に並べ替えます。
- ③: [絞り込み] 検索結果を都道府県で絞り込みます。

- 4 選択した施設周辺の地図が表示されます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)



住所から探す

住所から行き先を探します。

- 1 [メニュー] → [目的地検索] → [住所] をタッチします。



- 2 都道府県リストから該当の都道府県をタッチします。
地名は 50 音順に分類されています。画面上部の【あ】～【わ】をタッチしてリストの頭出しをします。



- 3 都道府県と同様に、市区町村→町名→丁目→番地→号と順番に選択します。
番地、号では、画面上部の【数字】をタッチしてリストの頭出しをします。



- 4 選択した住所周辺の地図が表示されます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)



- 番地など住所の詳細が分からない場合は、各リストに表示されている【代表地点】をタッチして選択した住所の代表地点を表示します。

施設のジャンルから探す

施設のジャンルから行き先を探します。

- 1 [メニュー]→[目的地検索]→[ジャンル]をタッチします。



- 2 ジャンルリスト(大分類)から該当のジャンルをタッチします。



- 3 ジャンルリスト(小分類)から該当のジャンルをタッチします。



- 4 都道府県リストから該当の都道府県をタッチします。
地名は50音順に分類されています。画面上部の【あ】～【わ】をタッチしてリストの頭出しをします。



- 5 都道府県と同様に、市区町村を選択します。



行き先を
探す

- 6 検索結果が表示されます。リストから該当の施設をタッチします。



① ②

- ①：[50音順]
検索結果を50音順に並べ替えます。
- ②：[距離順]
検索結果を距離の近い順に並べ替えます。
- 7 選択した施設に出入口情報がある場合、出入口リストが表示されます。
リストから該当の出入口をタッチします。



- 8 選択した施設周辺の地図が表示されます。(→67ページの「検索地点周辺地図について」を参照)



電話番号から探す

電話番号から行き先を探します。
本機にはハローページに掲載されている全国の施設、お店、企業などの電話番号が収録されています。

※個人宅の電話番号は収録されていません。

- 1 [メニュー]→[目的地検索]→[電話番号]をタッチします。



- 2 電話番号を入力します。入力、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→61ページの「文字入力キーボードについて」を参照) 入力完了後、[検索]をタッチします。



- 3 検索結果が表示されます。リストから該当の施設をタッチします。



- 4 選択した施設周辺の地図が表示されます。(→67ページの「検索地点周辺地図について」を参照)



行き先を探す

駅名から探す

駅名から行き先を探します。
本機には全国の JR・私鉄・地下鉄・その他
鉄道の駅が収録されています。

- 1 [メニュー] → [目的地検索] → [駅名]
をタッチします。



- 2 駅名を入力します。入力は、ナビ専用キー
ボードもしくはシステム標準キーボード
で行います。(→ 61 ページの「文字
入力キーボードについて」を参照)
入力完了後、[検索] をタッチします。
※検索は前方一致で行います。

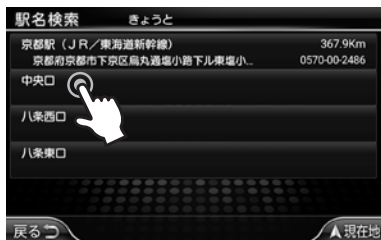


- ナビ専用キーボードは、ひらがな
で名称を入力します。システム標
準キーボードは、漢字での名称入
力が可能です。

- 3 検索結果が表示されます。リストから該
当の駅をタッチします。



- 4 選択した駅に出入口情報がある場合、出
入ロリストが表示されます。
リストから該当の出入口をタッチしま
す。



- 5 選択した駅周辺の地図が表示されます。
(→ 67 ページの「検索地点周辺地図
について」を参照)



地図から探す

地図から行き先を探します。

- 1 [メニュー] → [目的地検索] → [地図] をタッチします。



- 2 地図をスクロールさせて行き先を探します。(→ 55 ページの「地図をスクロールする」を参照)



- 3 行き先にカーソルを合わせます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)



緯度と経度から探す

緯度と経度から行き先を探します。

- 1 [メニュー]→[目的地検索]→[緯度経度]
をタッチします。



- 2 緯度と経度を入力します。入力、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→61ページの「文字入力キーボードについて」を参照)

入力する緯度と経度は、日本測地系、世界測地系の2種類から選択します。

入力完了後、[検索]をタッチします。



- 3 入力した緯度と経度周辺の地図が表示されます。(→67ページの「検索地点周辺地図について」を参照)



ルート探索と案内

ルート探索を開始する

ルート探索は以下の方法で開始します。

- 目的地検索メニューや地図から目的地を探してルート探索を開始します。
- ルート編集画面で、目的地、出発地、経由地、ルート計算方法を設定して、ルート探索を開始します。

目的地を探してルート探索を開始する

目的地検索メニューや地図から目的地を探してルート探索を開始します。

- 1 目的地検索メニューから目的地を探します。(→ 66 ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)
または、地図をスクロールさせて目的地を探します。
- 2 目的地周辺地図で、[ルート探索] もしくは[クイックルート]をタッチしてルート探索を開始します。



- ナビ設定で指定された条件でルート探索します。(→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照)



- クイックルートではすぐに案内が開始されます。(→ 88 ページの「ルート案内について」を参照)

- 3 目的地の周辺に有料道路がある場合、目的地を一般道路上と有料道路上のどちらにするかを選択するポップアップが表示されます。目的地を有料道路上に設定したい場合は[はい]を、一般道路上に設定したい場合は[いいえ]をタッチします。
- 4 ルート探索完了後、ルート全景画面が表示されます。(→ 86 ページの「ルートを確認して案内を開始する」を参照)



ルートを編集してルート探索を開始する

目的地、出発地、経由地、ルート計算方法を設定して、ルート探索を開始します。

- 1 [メニュー] → [ルート編集] をタッチします。
- 2 目的地、出発地、経由地、ルート計算方法を設定して、ルート探索を開始します。



- ①：[目的地]
目的地検索メニューから目的地を探します。(→ 66 ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)
- ②：[目的地削除アイコン]
目的地を削除します。
- ③：[経由地]
経由地を設定します。(→ 84 ページの「経由地を設定する」を参照)
- ④：[出発地]
目的地検索メニューから出発地を探します。(→ 66 ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)
- ⑤：[出発地削除アイコン]
出発地を現在地にします。
- ⑥：[おすすめ] / [有料優先] / [一般優先] / [距離優先]
ルート計算方法を設定します。(→ 85 ページの「ルート計算方法について」を参照)
※時間規制考慮、フェリー利用、スマート IC 利用などの条件は、ナビ設定で変更します。(→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照)
- ⑦：[ルート探索]
ルート探索を開始します。ルート探索完了後、ルート全景画面が表示されます。(→ 86 ページの「ルートを確認して案内を開始する」を参照)
- ⑧：[帰路アイコン]
出発地と目的地を入れ替えます。

経由地を設定する

ルート編集画面で、立ち寄りたい場所を経由地に設定します。

※経由地は最大5ヶ所まで設定できます。

- 1 ルート編集画面で「経由地」をタッチします。



- 2 経由地編集画面が表示されます。「追加」をタッチします。



- 3 目的地検索メニューから経由地を探します。(→66ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)

- 4 経由地周辺地図で、「経由地」をタッチします。



- 5 経由地が追加されました。次の経由地を追加します。ルート探索時には、上から順番に探索されます。経由地の設定を完了するには「決定」をタッチします。



- ①: [追加]
経由地の上の「追加」をタッチすると、その経由地の前に、下の「追加」をタッチすると、その経由地の後に、新しい経由地を追加します。
- ②: [経由地削除アイコン]
経由地を削除します。

- 6 経由地が設定されました。経由地には現在設定されている最初の経由地を表示します。経由地が複数の場合は最初の経由地とその他の経由地数を表示します



- 通りたい道や交差点を、経由地に設定することによって、希望するルートに近いルートを探ることができます。

ルート計算方法について

ルート計算方法は、以下の4つがご利用になれます。

- **おすすめ**
道路幅の広い幹線道路を優先して探索します。そのため目的地までの距離が他の探索条件よりも長くなる場合があります。
- **有料優先**
有料道路をなるべく使ったルートを探します。目的地までの距離が短い場合や目的地方向に有料道路のICがない場合など、条件によっては有料道路を使用しない場合があります。
- **一般優先**
有料道路をなるべく使わないルートを探します。
※目的地までの直線距離がおおよそ500km以内の場合にご利用が可能です。
- **距離優先**
なるべく距離が短いルートを探します。
※道路条件などによっては、必ず最短距離になるとは限りません。
※目的地までの直線距離がおおよそ300km以内の場合にご利用が可能です。

ルート探索時の注意点

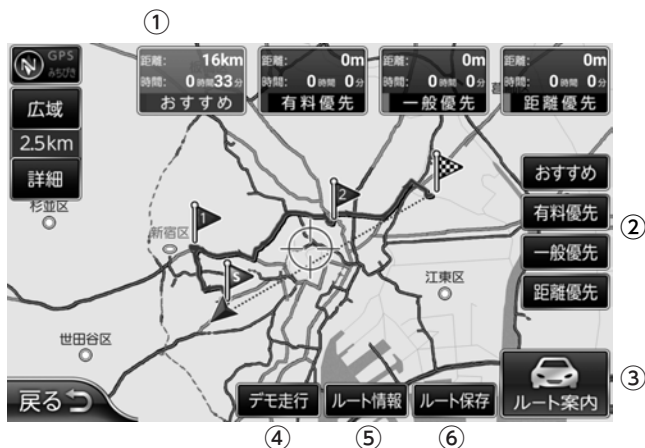
- 出発地と目的地が近すぎるとルート探索できない場合があります。
- 出発地、目的地の近くに、ルート探索可能な道路がない場合、ルート探索できない場合があります。出発地、目的地をなるべく幅の広い道路に移動してください。
- ルート計算方法の「一般優先」は、目的地までの直線距離がおおよそ500km以内の場合にご利用が可能です。500kmを超える場合は、「おすすめ」でルート探索します。
- ルート計算方法の「距離優先」は、目的地までの直線距離がおおよそ300km以内の場合にご利用が可能です。300kmを超える場合は、「おすすめ」でルート探索します。
- フェリーを利用する場合は、ナビ設定でフェリー利用を「する」に設定してください。（→96ページの「ルート探索を設定する」を参照）
- 設定した条件によっては、ルート探索できない場合があります。その場合は、条件を変更して、再度ルート探索を行ってください。

経由地設定時の注意点

- 経由地を設定すると、経由地から一番近い道路を通るようにルート探索します。そのため、ルート探索結果が経由地付近で最適にならない場合があります。
- 経由地はできる限り立ち寄りたい場所に近い道路に設定してください。
- 以下のような場所を経由地として設定すると、ルート探索できない場合があります。
 - ・ 一方通行道路に経由地を設定する。
 - ・ 道路から離れた地点を経由地に設定する。
 - ・ 経由地と目的地、出発地、経由地の間を近くに設定する。
 - ・ 海、離島などに経由地を設定する。
- 複数の経由地を設定した場合、目的地までの走行距離が長くなる場合があります。
- 複数の経由地を設定した場合、ルート探索に時間がかかる場合があります。

ルートを確認して案内を開始する

- 1 ルート探索を開始します。(→ 82 ページの「ルート探索を開始する」を参照)
- 2 ルート探索完了後、ルート全景画面が表示されます。



- ①：[走行距離と所要時間]
各ルート計算方法でのルートの走行距離と所要時間を表示します。
※所要時間は、道路別に設定された走行速度から計算した参考値です。そのため、実際とは大きく異なる場合があります。道路別の走行速度は、ナビ設定で変更します。(→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照)
- ②：[おすすめ] / [有料優先] / [一般優先] / [距離優先]
それぞれのルート計算方法でルート探索して、探索結果を表示します。(→ 85 ページの「ルート計算方法について」を参照)
- ③：[ルート案内]
ルート案内を開始します。(→ 88 ページの「ルート案内について」を参照)
- ④：[デモ走行]
ルート上の案内地点一覧とその案内内容を確認します。(→ 87 ページの「デモ走行する」を参照)
- ⑤：[ルート情報]
通るルートと案内内容をデモ走行で確認します。(→ 87 ページの「ルート情報を見る」を参照)
- ⑥：[ルート保存]
現在のルートを保存します。保存したルートは呼び出して利用します。(→ 104 ページの「登録ルートからルートを設定する」を参照)

ルート情報を見る

ルート上の案内地点一覧とその案内内容を確認します。

- 1 ルート探索を開始します。(→ 82 ページの「ルート探索を開始する」を参照)
- 2 ルート探索完了後、ルート全景画面が表示されます。
[ルート情報] をタッチします。



- 3 案内地点リストが表示されます。
地図上で確認したい案内地点をタッチします。



- 4 案内地点周辺の地図が表示されます。
[前へ]、[次へ] をタッチして案内地点を移動します。



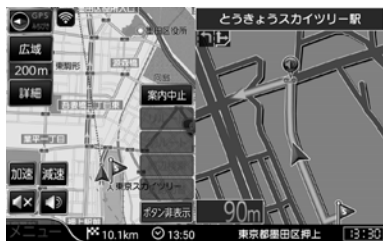
デモ走行する

通るルートと案内内容をデモ走行で確認します。

- 1 ルート探索を開始します。(→ 82 ページの「ルート探索を開始する」を参照)
- 2 ルート探索完了後、ルート全景画面が表示されます。
[デモ走行] をタッチします。



- 3 デモ走行が開始されます。
[加速]、[減速] をタッチしてデモ走行の速度を調節します。



ルート案内について

目的地周辺地図で [クイックルート] をタッチするか、ルート全景画面で [ルート案内] をタッチしてルート案内を開始します。

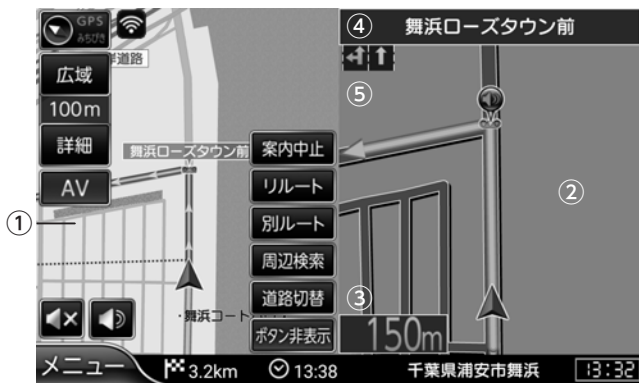
一般道路の案内画面について



- ①: ルート線
走行すべき道路を強調表示します。
- ②: 案内地点情報
次の案内地点の情報（案内地点までの距離、進路変更の方向、交差点名、レーン情報）を表示します。
- ③: 前方交差点のレーン情報
前方交差点のレーン情報を表示します。
走行レーンは、青色で表示します。
- ④: 目的地までの距離
目的地までのルートの走行距離を表示します。
- ⑤: 到着予想時刻
目的地に着く予想時刻を表示します。
※到着予想時刻は、道路別に設定された走行速度から計算した参考値です。そのため、実際とは大きく異なる場合があります。道路別の走行速度は、ナビ設定で変更します。（→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照）
- ⑥: 道路名／行政名
走行している道路名と住所を交互表示します。
※名称が表示されない道路もあります。
- ⑦: [案内中止]
ルート案内を中止します。
- ⑧: [リルート]
リルートします。（→ 92 ページの「リルートについて」を参照）
- ⑨: [別ルート]
ルート全景画面を表示します。（→ 86 ページの「ルートを確認して案内を開始する」を参照）
- ⑩: [周辺検索]
現在地または目的地周辺にある施設をジャンルを指定して検索します。
- ⑪: [道路切替]
自車位置を別の道路に切り替えます。（→ 92 ページの「道路切り替えについて」を参照）

交差点拡大図について

一般道路を走行中は、案内地点付近になると2画面表示になります。左画面には通常地図、右画面には案内地点の拡大図が表示されます。



- ①：通常地図
通常地図を表示します。2画面表示時の地図の縮尺は、ナビ設定で変更します。（→95ページの「地図の表示内容を設定する」を参照）
- ②：案内地点の拡大図
案内地点を拡大して表示します。
- ③：残距離
案内地点までの残距離を表示します。
- ④：交差点名表示
案内地点の交差点名を表示します。
- ⑤：車線情報
案内地点のレーン情報を表示します。進入レーンは、青色で表示します。



- ・ 交差点拡大図をタッチして非表示にします。非表示にすると【拡大図】が表示されません。タッチして再表示します。
※非表示にするとハイウェイガイド、イラストガイドも非表示になります。

ハイウェイガイドについて

高速道路を走行中は、2画面表示になります。左画面には通常地図、右画面にはハイウェイガイドが表示されます。



①：通常地図

通常地図を表示します。2画面表示時の地図の縮尺は、ナビ設定で変更します。(→95ページの「地図の表示内容を設定する」を参照)

②：道路名/住所

走行中の高速道路名と住所を交互に表示します。
※名称が表示されない道路もあります。

③：高速道路施設情報

3つ先までのIC、JCT、SA/PAなどの高速道路の施設情報を表示します。それぞれの施設までの距離、到着予想時刻、進路変更方向を表示します。SA/PAでは駐車場の情報やレストランなどの情報を表示します。施設情報をタッチしてさらに詳しい施設詳細を表示します。

※到着予想時刻は、道路別に設定された走行速度から計算した参考値です。そのため、実際とは大きく異なる場合があります。道路別の走行速度は、ナビ設定で変更します。(→96ページの「ルート探索を設定する」を参照)

④：[スクロールアイコン]

高速道路施設情報をスクロールします。



最後の施設情報を表示します。



一区間前の施設情報を表示します。



一区間先の施設情報を表示します。



現在地を表示します。



- ・ハイウェイガイドをタッチして非表示にします。非表示になると「ハイウェイ」が表示されます。タッチして再表示します。
※非表示にすると交差点拡大図、イラストガイドも非表示になります。

イラストガイドについて

一部の交差点や高速道路の分岐などでは、イラストガイドで案内します。

高速分岐イラストガイド



高速出口後分岐イラストガイド



高速出口後方面イラストガイド



3Dリアル交差点イラストガイド



方面看板イラストガイド



都市高速出入口イラストガイド



- イラストガイドをタッチして非表示にします。非表示にすると[拡大図]が表示されます。タッチして再表示します。
※非表示にすると交差点拡大図、ハイウェイガイドも非表示になります。

リルートについて

リルートは、案内中にルートから外れた場合に、現在地から目的地までルート探索し直す機能です。

リルートを自動で行うか、手動で行うかは、ナビ設定で変更します。

自動に設定した場合は、ルートから外れた場合、自動的にリルートします。

手動に設定した場合は、ルートから外れても自動的にリルートは行いません。リルートする場合は、[リルート] をタッチします。

※手動に設定した場合、ルートを外れると案内をしなくなりますが、ルートに戻ると案内を再開します。



道路切り替えについて

道路切り替えは、隣接して平行した道路を走行中に、自車位置が走行していない道路になってしまった場合に、自車位置を別の道路に切り替える機能です。

[道路切替] をタッチして道路を切り替えます。

※切り替え可能な道路がない場合はタッチできません。



トンネルアシストについて

トンネルアシストは、トンネル内で GPS 電波が受信ができない場合に、以前の GPS 情報から走行速度を予測して、トンネルの出口まで仮想走行を行い、ルート案内を続ける機能です。

GPS 電波を受信した場合は、通常のルート案内に戻ります。

※実際の走行とは誤差が生じる場合があります。

※ルート案内中のみ動作します。フリー走行中は、動作しません。

ナビの設定と登録情報

ナビの各種設定をする

地図の表示内容やルート計算方法など、ナビの各種設定をします。

- 1 [メニュー] → [ナビ設定] をタッチしてナビ設定メニューを表示します。



- ①: [地図表示]
地図の表示内容を設定します。(→ 95 ページの「地図の表示内容を設定する」を参照)
- ②: [ランドマーク]
地図上に表示するコンビニやファーストフードなどのランドマークアイコンを設定します。(→ 100 ページの「ランドマークを設定する」を参照)
- ③: [ルート探索]
ルート計算方法やリルートなどルート探索について設定します。(→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照)
- ④: [ルート案内]
案内音声や合流案内などルート案内について設定します。(→ 97 ページの「ルート案内を設定する」を参照)

- ⑤: [安全運転ガイド]
事故多発地点案内や踏切案内など安全運転ガイドについて設定します。(→ 98 ページの「安全運転ガイドを設定する」を参照)
- ⑥: [アプリケーション]
文字入力キーボードや地図スクロール方法などアプリケーションについて設定します。(→ 98 ページの「安全運転ガイドを設定する」を参照)
- ⑦: [VICS]
VICS について設定します。(→ 122 ページの「VICS を設定する」を参照)
- ⑧: [開通道路情報]
製品出荷時に未対応の道路を有効にします。(→ 101 ページの「開通前道路情報を設定する」を参照)
- ⑨: [設定初期化]
すべての設定を既定値にします。

- 2 左側の設定項目リストから該当の設定項目をタッチして右側の設定値リストから該当の設定値をタッチします。



地図の表示内容を設定する

設定項目	内容	
地図色	地図の背景色を設定します。	
	昼モード	明るくて、見やすい色で表示します。
	夜モード	暗闇で眩しすぎず、見やすい色で表示します。
	オート	現在時刻から自動的に地図色を切り替えます。 4月～9月は 18:00～翌 6:00、10月～3月は 17:00～翌 7:00 が夜モードになります。
地図上の文字サイズ	地図上の文字サイズを設定します。	
	小	指定された文字サイズで、地図上の文字を表示します。
	標準	
	大	
特大		
地図方向	地図方向を設定します。	
	ヘディングアップ (進行方向)	常に走行方向が画面の上を向くように進行方向 に対応して地図の向きを変化させます。
	ノースアップ(北上 固定)	常に北の方向が画面の上になるように地図を 表示します。
	3Dビュー	地図を鳥瞰視点で表示します。地図方向はヘ ディングアップと同様に、常に走行方向が画面の上 を向くように進行方向に対応して地図の向きを 変化させます。
フロントワイド	地図上の自転車位置アイコンの表示位置を設定します。	
	する	前方を広く表示します。
	しない	画面の中央に表示します。
家形表示	地図上の家形の表示方法を設定します。	
	表示する(高さあり)	家形を表示して、高さを付けます。 ※ 3Dビューのみ表示します。 ※ 50m以下のスケールで表示します。
	表示する(高さなし)	家形を表示して、高さを付けません。 ※ 100m以下のスケールで表示します。
	表示しない	家形を表示しません。
3Dアイコン表示	日本全国の名所の実際の形に近い3Dアイコンの表示有無を設定 します。 ※ 100m以下のスケールで表示します。	
走行軌跡表示	走行軌跡の表示有無を設定します。	
目的地方向線	目的地を指す方向線の表示有無を設定します。	

ルート探索を設定する

設定項目	内容	
リルート	ルート案内中にルートを外れた場合のリルート方法を設定します。 (→ 92 ページの「リルートについて」を参照)	
	オート	ルートから外れた場合、自動的にリルートしません。
	手動	ルートから外れても自動的にリルートは行いません。リルートする場合は、[リルート] をタッチします。
ルート計算	ルート探索時のルート計算方法を設定します。	
	おすすめ	指定された計算方法で、ルート探索を行います。
	有料優先	
	一般優先	
距離優先		
フェリー利用	ルート探索時にフェリー利用を考慮するかどうかを設定します。	
スマート IC 利用	ルート探索時にスマート IC 利用を考慮するかどうかを設定します。	
時間規制考慮	ルート探索時に時間規制を考慮するかどうかを設定します。 ※時間規制はルート探索開始時刻を基準に考慮します。 ※祝祭日指定の時間規制は考慮しません。 ※目的地によっては、時間規制を考慮した結果、ルート探索できない場合があります。	
渋滞情報考慮	ルート探索時に渋滞情報を考慮するかどうかを設定します。(→ 121 ページの「VICS 情報を考慮したルート探索について」を参照)	
到着予想時刻計算速度 (高速道)	到着予想時刻の計算に利用する高速道の走行速度を設定します。	
	60km/h	
	80km/h	
到着予想時刻計算速度 (一般道)	到着予想時刻の計算に利用する一般道の走行速度を設定します。	
	20km/h	
	30km/h	
	40km/h	
	50km/h	
	60km/h	

ルート案内を設定する

設定項目	内容	
トンネルアシスト	トンネルアシストを行うかどうかを設定します。(→ 92 ページの「トンネルアシストについて」を参照)	
ルート案内音	ルート案内方法を設定します。	
	音声	案内地点を音声でお知らせします。
	警告音	案内地点を警告音でお知らせします。
	しない	音声・警告音による案内をせず、ガイド表示のみで案内します。
2画面時縮尺	2画面表示の場合に、左画面に表示される地図スケール(縮尺)を設定します。	
	50m スケール	2画面表示時に、左画面の地図スケールを設定したスケールで表示します。
	100m スケール	
	200m スケール	
固定しない	2画面表示時に、左画面の地図スケールを全画面表示時の地図スケールのまま表示します。	
右左折専用レーン案内	右左折専用レーンをガイド表示と音声で案内するかどうかを設定します。	
合流案内	合流道路をガイド表示と音声で案内するかどうかを設定します。	

安全運転ガイドを設定する

設定項目	内容	
オービス案内	オービスポイントの案内方法を設定します。 ※オービスポイントは過去にオービス機が設置された地点の目安です。 確実なものではありません。	
	音声	オービスポイントを音声でお知らせします。
	警告音	オービスポイントを警告音でお知らせします。
	しない(アイコンも非表示)	音声・警告音による案内をしません。地図上のオービスアイコンも表示しません。
オービス検索	オービスポイントの検索範囲を設定します。	
	500m	指定された検索範囲(半径)で、オービスポイントを検索します。
	1km	
	2km	
事故多発地点案内	交通事故が多発している交差点や道路をガイド表示と音声で案内するかどうかを設定します。	
踏切案内	踏切をガイド表示と音声で案内するかどうかを設定します。	
一時停止案内	一時停止をガイド表示と音声で案内するかどうかを設定します。	
休憩案内	休憩を2時間ごとにガイド表示と音声で促すかどうかを設定します。	
ライト点灯案内	ライト点灯をガイド表示と音声で促すかどうかを設定します。 ※4月～9月は18時、10月～3月は17時に案内します。	
急発進注意	急発進を検知した場合に、ガイド表示と音声でお知らせするかどうかを設定します。 ※約5秒の間に車速変化が約40km/h以上の場合に、急発進と判断します。	
トンネル案内	トンネルをガイド表示と音声で案内するかどうかを設定します。	

アプリケーションを設定する

設定項目	内容	
測地系設定	地図で表示する座標、緯度経度検索、GPS 情報画面で利用する緯度と経度の測地系を設定します。	
	日本測地系	設定した測地系を利用します。
	世界測地系	
文字入力キーボード	各種入力画面で利用する入力キーボードを設定します。	
	システム標準 ナビ専用	設定したキーボードを利用します。(→ 61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照)
スクロールタイプ	地図のスクロール方法を設定します。	
	ドラッグ・フリック	地図をドラッグして表示したい箇所に移動します。 また、フリックで地図を表示したい方向に素早く移動します。(→ 18 ページの「タッチパネルの操作について」を参照)
	タップ・ホールド	地図をタッチしてタッチした地点を画面の中心に移動します。 また、スクロールしたい方向の地図を長押しして連続で地図をスクロールします。(→ 18 ページの「タッチパネルの操作について」を参照)
警告画面表示	起動時に警告画面を表示するかどうかを設定します。	

ランドマークを設定する

地図上に表示するコンビニやファーストフードなどのランドマークアイコンを設定します。

- 1 [メニュー] → [ナビ設定] → [ランドマーク] をタッチします。



- 2 ランドマークジャンルリスト (大分類) から該当のジャンルをタッチします。タッチしたジャンルは選択状態になり、反転表示されます。再度タッチすると、選択が解除されます。[全選択]、[全解除] をタッチしてすべてのジャンルを選択/解除します。



- 3 一部のジャンルでは、ジャンルリスト (小分類) が表示されます。ジャンル (大分類) と同様に、ジャンル (小分類) を選択します。



開通前道路情報を設定する

本製品は、一部の開通前道路が製品出荷時には未対応の状態です。

実際の道路の開通後、該当道路を有効にさせていただくことにより、ルート探索、案内が可能になります。

※開通前に取得できた情報のみ反映しておりますので、道路形状、規制、接続する一般道の道路状況など、現地の状況と異なる可能性があり、実際とは異なったルート案内をする場合があります。

※道路形状（地図表示）および道路ネットワークデータ（ルート探索・案内用データ）のみ反映されており、誘導系画像、検索データ、その他注記等が反映されていない場合があります。

※道路形状（地図表示）は 200m 以下のスケールのみ（一部の道路では 200m スケールのみ）に反映されており、300m 以上のスケールでは表示されません。

- 1 [メニュー] → [ナビ設定] → [開通前道路情報] をタッチします。



- 2 有効にしたい道路をタッチします。
タッチした道路が有効になり、強調表示されます。
再度タッチすると、該当道路が無効になります。

自宅を登録する

自宅を登録します。登録した自宅は、地図上にアイコンで表示されます。

地図から登録する

- 1 自宅まで地図を移動します。
- 2 [自宅登録] をタッチします。



- 3 登録完了メッセージが表示されます。[確認] をタッチします。
- 4 地図上に自宅がアイコンで表示されます。



地点を検索して登録する

- 1 地点を検索します。(→ 66 ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)
- 2 [自宅登録] をタッチします。



- 3 登録完了メッセージが表示されます。[確認] をタッチします。
- 4 地図上に自宅がアイコンで表示されます。



地点を登録する

よく利用する地点を登録します。登録した地点は、地図上にアイコンで表示されます。

※地点は最大 500 件まで登録できます。

地図から登録する

- 1 登録したい地点まで地図を移動します。
- 2 [地点登録] をタッチします。



- 3 登録完了メッセージが表示されます。[確認] をタッチします。
- 4 地図上に登録地点がアイコンで表示されます。



地点を検索して登録する

- 1 地点を検索します。(→ 66 ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)
- 2 [地点登録] をタッチします。



- 3 登録完了メッセージが表示されます。[確認] をタッチします。
- 4 地図上に登録地点がアイコンで表示されます。



ナビの設定
と登録情報

ルートを登録する

ルートを登録する

よく利用するルートを登録します。
※ルートは最大 10 件まで登録できます。

- 1 ルートを探索します。(→ 82 ページの「ルート探索を開始する」を参照)
- 2 ルート全景で「ルート保存」をタッチします。(→ 86 ページの「ルートを確認して案内を開始する」を参照)



- 3 登録完了メッセージが表示されます。「確認」をタッチします。

登録ルートからルートを設定する

- 1 [メニュー] → [登録ルート] をタッチします。



- 2 登録ルートリストが表示されます。リストから該当ルートをタッチします。



- 3 登録ルートの内容がルート編集画面にセットされます。



登録情報を管理する

登録地点名を変更する

- 1 [メニュー] → [登録情報] → [登録地点編集] をタッチします。



- 2 登録地点リストが表示されます。リストから地点名を変更したい登録地点をタッチします。



- 3 編集内容選択ポップアップが表示されます。[名称変更] をタッチします。



- 4 登録地点名を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ 61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照)

入力完了後、[登録] をタッチします。



- システム標準キーボードでは、漢字での登録地点名の入力が可能です。

登録地点アイコンを変更する

- 1 [メニュー] → [登録情報] → [登録地点編集] をタッチします。



- 2 登録地点リストが表示されます。リストからアイコンを変更したい登録地点をタッチします。



- 3 編集内容選択ポップアップが表示されます。
[アイコン変更] をタッチします。



- 4 地図上に表示したいアイコンをタッチします。



登録地点を削除する

- 1 [メニュー] → [登録情報] → [登録地点編集] をタッチします。



- 2 登録地点リストが表示されます。リストから削除したい登録地点をタッチします。
全ての登録地点を削除したい場合は、[すべて削除] をタッチします。



- 3 編集内容選択ポップアップが表示されます。
[削除] をタッチします。



- 4 削除確認ポップアップが表示されます。
削除する場合は、[はい] をタッチします。

登録ルートを削除する

- 1 [メニュー] → [登録情報] → [登録ルート削除] をタッチします。



- 2 登録ルートリストが表示されます。リストから削除したい登録ルートをタッチします。
全ての登録ルートを削除したい場合は、[すべて削除] をタッチします。



- 3 削除確認ポップアップが表示されます。
削除する場合は、[はい] をタッチします。

目的地履歴を削除する

- 1 [メニュー] → [登録情報] → [目的地履歴削除] をタッチします。



- 2 目的地履歴リストが表示されます。リストから削除したい目的地履歴をタッチします。
全ての目的地履歴を削除したい場合は、[すべて削除] をタッチします。



- 3 削除確認ポップアップが表示されます。削除する場合は、[はい] をタッチします。

検索履歴を削除する

- 1 [メニュー] → [登録情報] → [検索履歴削除] をタッチします。



- 2 検索履歴リストが表示されます。リストから削除したい検索履歴をタッチします。
全ての検索履歴を削除したい場合は、[すべて削除] をタッチします。



- 3 削除確認ポップアップが表示されます。削除する場合は、[はい] をタッチします。

走行軌跡を削除する

- 1 [メニュー] → [登録情報] → [走行軌跡削除] をタッチします。



- 2 削除確認ポップアップが表示されます。
削除する場合は、[はい] をタッチします。

GPS 情報を見る

- 1 [メニュー] → [GPS 情報] をタッチします。



- 2 GPS 情報画面が表示されます。



- ①: 速度
- ②: 緯度
- ③: 経度
- ④: 時刻
- ⑤: 高度
- ⑥: 受信衛星と受信強度
- ⑦: 方位
- ⑧: 速度グラフ
- ⑨: [日本測地系] / [世界測地系]

表示する緯度と経度の測地系を切り替えます。

ナビシステム情報を見る

- 1 [メニュー] → [システム情報] をタッチします。



- 2 ナビシステム情報が表示されます。
※以下のナビシステム情報は、製品の表示内容と異なります。



ナビデータを初期化する

すべての登録情報を削除し、ナビ設定を既定値にします。

- 1 [メニュー] → [システム情報] をタッチします。



- 2 [ナビデータ初期化] をタッチします。

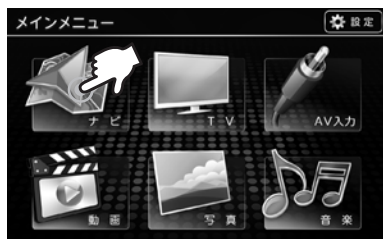


- 3 確認ポップアップが表示されます。
初期化する場合は、[はい] をタッチします。

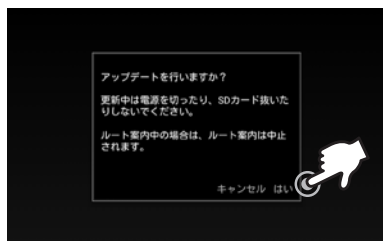
ナビシステムをアップデートする

オプションの「地図更新 SD カード」を利用してナビシステムをアップデートします。

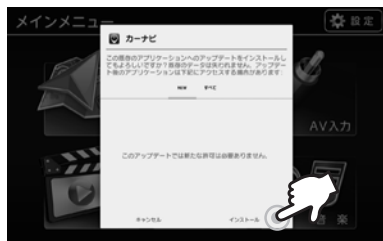
- 1 本体にオプションの「地図更新 SD カード」を挿入します。
- 2 メインメニューで [ナビ] をタッチします。



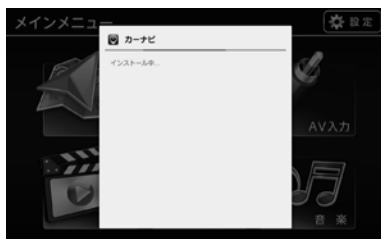
- 3 確認ポップアップが表示されます。[はい] をタッチします。



- 4 続けて確認ポップアップが表示されます。[インストール] をタッチします。



- 5 アップデートが実行されます。



- 6 アップデートが完了すると、終了メッセージが表示されます。アップデートを終了する場合は [完了] をナビを実行する場合は [開く] をタッチします。



VICS を利用する

VICS 情報を表示する

VICS について

VICS とは、渋滞・事故などの影響による規制などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。

本機では、スマートフォンの Wi-Fi テザリング機能などを利用してインターネットに接続し、VICS 情報を受信します。

VICS 表示は、レベル 3 (地図) 表示に対応しています。

※本機が接続するスマートフォンは 4G または 3G 通信が可能な機種でご利用ください。

※本機で使用する道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されています。また、データの作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの技術が用いられています。

※「VICS」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

※通信を利用するため、通信環境によっては、サービスをご利用いただけない場合があります。

※受信状況によっては、VICS 情報が本機に表示されるまで時間がかかる場合があります。

※提供される VICS 情報はあくまでも参考です。実際の交通規制と異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。

※提供されるデータなどは最新情報ではない場合があります。

※ VICS データを受信する際には 1 回の更新で 10 ~ 50KB 程度のデータ通信が発生します。

※ VICS 情報を反映したルート探索を行う場合は、約 1MB のデータ通信が発生します。

VICS 情報の表示手順について

- 1 スマートフォンの Wi-Fi テザリング機能などを利用してインターネットに接続します。
(→ 117 ページの「インターネットに接続する」を参照)
- 2 シリアル番号を登録します。(→ 118 ページの「シリアル情報を登録する」を参照)
登録は一度行えば有効期限が切れるまでは再度行う必要はありません。
登録したシリアル番号の有効期限が切れた場合は、オプションの「VICS チケット」を利用して有効期限を延長します。(→ 119 ページの「シリアル情報を確認・更新する」を参照)
- 3 地図上の「VICS アイコン」をタッチして VICS 情報を受信します。
VICS 更新方法を変更して、VICS 情報を自動で受信するように設定できます。
(→ 123 ページの「VICS 更新方法を設定する」を参照)



インターネットに接続する

1 スマートフォンのテザリング機能を利用してインターネットに接続する場合は、スマートフォンでWi-Fi テザリングをONにします。

- iPhoneをお使いの場合
 - [設定] をタッチします。
 - [インターネット共有] をタッチします。
 - 「インターネット共有」を [ON] にします。
 - インターネット共有画面のままで本機を接続してください。iPhoneの名称がネットワーク名になります。

• Androidスマートフォンをお使いの場合

- [設定] をタッチします。
- [その他] をタッチします。
- [テザリング] をタッチします。
- [Wi-Fi テザリング] をタッチします。
- 端末の名称 (もしくはSSID) がネットワーク名になります。

※機種によりメニュー名、操作手順は異なります。詳しくはご利用機種の取扱説明書をご確認ください。

※スマートフォンは4Gまたは3G通信が可能な機種でご利用ください。

※Wi-FiはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

※Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。

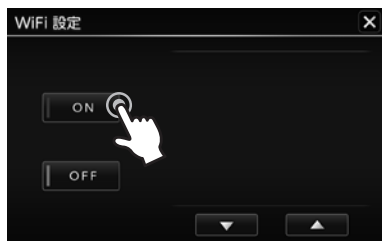
※iPhoneは、Apple Inc.の商標または登録商標です。

※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

2 [メニュー] → [Wi-Fi] をタッチします。



3 Wi-Fi 設定画面が表示されます。
[ON] をタッチします。



4 接続可能なネットワークが表示されます。該当のネットワーク名をタッチします。

5 パスワードを入力します。

6 接続されると「接続済み」と表示されます。



- Wi-Fi を ON の状態で、電源を OFF すると、次回起動時は自動的に最後に接続したネットワークに接続します。

シリアル情報を登録する

VICS を利用するためには、シリアル番号を登録します。

※シリアル番号を登録するにはインターネットに接続する必要があります。(→ 117 ページの「インターネットに接続する」を参照)

- 1 本体背面左側に記載されている 16 桁のシリアル番号を確認します。
- 2 [メニュー] → [ナビ設定] → [VICS] をタッチします。



- 3 VICS 設定画面で、[シリアル登録] をタッチします。



- 4 シリアル番号を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ 61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照)

入力完了後、[登録] をタッチします。



シリアル情報を確認・更新する

登録されたシリアル番号、有効期限を確認します。

また、有効期限が切れたシリアル情報を更新します。有効期限を延長するには、オプションの「VICS チケット」が必要です。

※シリアル情報を更新するにはインターネットに接続する必要があります。(→117ページの「インターネットに接続する」を参照)

- 1 [メニュー] → [ナビ設定] → [VICS] をタッチします。



- 2 VICS設定画面で、[シリアル確認] をタッチします。



- 3 登録されたシリアル情報が表示されます。

シリアル情報を更新する場合は、[登録更新] をタッチします。



- 4 確認メッセージが表示されます。[はい] をタッチします。



- 5 シリアル番号を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→61ページの「文字入力キーボードについて」を参照)

入力完了後、[登録] をタッチします。



VICSを
利用する

VICS 表示について



①: [VICS アイコン]

タッチして最新の VICS 情報を受信します。

VICS を受信した時刻、VICS 更新方法を表示します。VICS 更新方法は、ナビ設定で変更します。(→ 123 ページの「VICS 更新方法を設定する」を参照)

②: 渋滞情報

赤色：渋滞 橙色：混雑 青色：順調 黄色：規制

※方向を矢印で表示します。

③: VICS 情報アイコン

交通規制、交通障害、駐車場、SA/PA 情報をアイコンで表示します。アイコンをタッチして詳細情報を表示します。

※詳細情報がない VICS 情報アイコンもあります。

	事故		チェーン規制
	故障車		車線規制
	路上障害		対面通行
	工事		速度規制
	作業		片側交互通行
	凍結		入口閉鎖
	通行止め閉鎖		入口制限
	進入禁止		大型通行止め
	徐行		規制

	SA/PA	青色：空
	SA/PA	橙色：混雑
	SA/PA	赤色：満
	SA/PA	赤色(x)：閉
	SA/PA	黒色：不明
	駐車場	青色：空
	駐車場	橙色：混雑
	駐車場	赤色：満
	駐車場	赤色(x)：閉
	駐車場	黒色：不明

VICS 情報を考慮したルート探索について

VICS 情報を考慮してルート探索します。

※ VICS 情報を考慮したルート探索を行う場合は、約 1MB のデータ通信が発生します。

- ナビ設定で渋滞情報考慮を「する」に設定してください。(→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照)
※渋滞情報考慮が「する」に設定されている場合は、ルート編集画面の「ルート探索」に「VICS マーク」が表示されます。



- ルート探索を開始します。(→ 82 ページの「ルート探索を開始する」を参照)
- ルート探索完了後、ルート全景画面が表示されます。

ルート区間色で、渋滞状況を表示します。
(赤色：渋滞、橙色：混雑、青色：渋滞なし、灰色：不明)

[ルート案内] をタッチします。

※渋滞情報考慮が「する」に設定されている場合は、[ルート案内] に「VICS マーク」が表示されます。



- 案内が開始されます。
※渋滞情報考慮が「する」に設定されている場合は、画面左上に「VICS マーク」が表示されます。



VICS を設定する

VICS 表示を設定する

- 1 [メニュー] → [ナビ設定] → [VICS] → [VICS 表示設定] をタッチします。



- 2 左側の設定項目リストから該当の項目をタッチして右側の設定リストから該当の項目をタッチします。



設定項目	内容
一般道渋滞／混雑情報	一般道の渋滞／混雑線の表示有無を設定します。 ※ 500m 以下のスケールで表示します。
一般道渋滞なし情報	一般道の順調線の表示有無を設定します。 ※ 2D 地図では 300m 以下、3D ビューでは 200m 以下のスケールで表示します。
高速道渋滞／混雑情報	高速道の渋滞／混雑線の表示有無を設定します。 ※ 2D 地図では 1km 以下、3D ビューでは 500m 以下のスケールで表示します。
高速道渋滞なし情報	高速道の順調線の表示有無を設定します。 ※ 2D 地図では 300m 以下、3D ビューでは 200m 以下のスケールで表示します。
駐車場、SA/PA 情報	駐車場、SA/PA 情報アイコンの表示有無を設定します。 ※ 300m 以下のスケールで表示します。
道路規制情報	道路規制情報アイコンの表示有無を設定します。 ※ 2D 地図では 1km 以下、3D ビューでは 500m 以下のスケールで表示します。

VICS 更新方法を設定する

- 1 [メニュー] → [ナビ設定] → [VICS]
→ [VICS 更新設定] をタッチします。



- 2 右側に設定リストから該当の項目をタッチします。

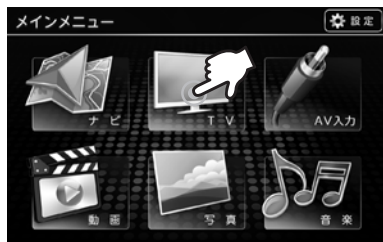


テレビ・AV機能

テレビを視聴する

メインメニューから起動する

- 1 メインメニューで [TV] をタッチします。



- 2 テレビが起動します。



ナビから起動する

- 1 地図で [AV アイコン] をタッチします。



- 2 AVメニューが表示されます。[TV] をタッチします。



- 3 ナビ画面とテレビが同時に分割表示されます。(→ 58 ページの「ナビとAV機能を分割表示する」を参照)

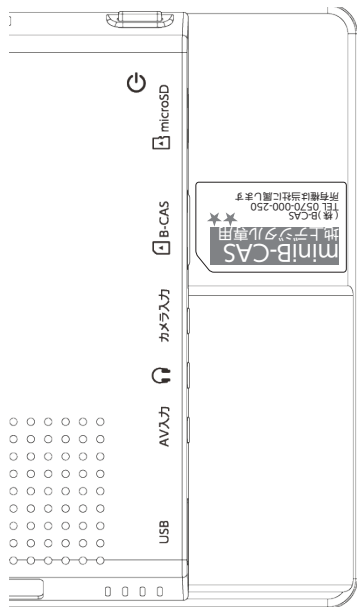


テレビを視聴するための手順について

miniB-CAS カードを入れる

地上デジタル放送（12セグ）を受信するには、付属の「miniB-CAS カード」を本体に挿入してください。

miniB-CAS カードが挿入されていない場合は、ワンセグ放送で受信します。



入れ方：

- 電源を OFF にする。
- イラストを参考にして、miniB-CAS カードをカチッと音がするまで、差し込みます。

取り出し方：

- miniB-CAS カードを奥に押します。
- miniB-CAS カードが少し飛び出しますので、そのまま引き抜きます。

受信モードを設定する

[受信モードアイコン] をタッチして受信モードを切り替えます。



自動切り替え

電波状況がよい場合は地上デジタル放送で、悪い場合はワンセグで受信するように自動で切り替えます。



地上デジタル放送固定
地上デジタル放送で受信します。



ワンセグ放送固定
ワンセグ放送で受信します。

中継局サーチを設定する

[中継局 ON/OFF アイコン] をタッチして中継局サーチの ON/OFF を切り替えます。中継局サーチを ON にすると、移動などで受信状態が悪くなった場合、受信状態のよい中継局に自動で切り替えます。

※系列局への切り替えは行いません。



チャンネルをスキャンする

受信可能なチャンネルをサーチしてチャンネルリストに表示します。

- 1 [チャンネルスキャン] をタッチします。



- 2 チャンネルスキャンが実行され、チャンネルリストに現在受信できるチャンネルが表示されます。

テレビ画面について



- ① : miniB-CAS カード挿入状態
miniB-CAS カードが挿入されていない場合は「×」で表示します。
- ② : 受信感度
受信感度を表示します。アンテナ部分が白色の場合は地上デジタル放送受信、赤色の場合はワンセグ放送受信です。
- ③ : 音量
音量を表示します。ミュート（消音）している場合は「×」になります。
- ④ : [ナビアイコン]
ナビを起動します。
- ⑤ : [×アイコン]
テレビを終了します。
- ⑥ : テレビ
タッチすると、全画面表示します。再度タッチすると、全画面表示を終了します。
- ⑦ : チャンネルリスト
現在受信できるチャンネルを表示します。
- ⑧ : [全画面アイコン]
テレビを全画面表示します。全画面表示画面をタッチすると、全画面表示を終了します。
- ⑨ : [受信モードアイコン]
受信モードを切り替えます。(→ 128 ページの「受信モードを設定する」を参照)
- ⑩ : [チャンネルスキャン]
受信可能なチャンネルをサーチしてチャンネルリストに表示します。
- ⑪ : [中継局 ON/OFF]
中継局サーチの ON/OFF を切り替えます。(→ 128 ページの「中継局サーチを設定する」を参照)
- ⑫ : [字幕 ON/OFF]
字幕の ON/OFF を切り替えます。
- ⑬ : [音量アイコン]
音量を調整します。
- ⑭ : [ミュートアイコン]
音量をミュート（消音）します。
- ⑮ : [番組表アイコン]
番組表を表示します。
※テレビを起動した直後やチャンネルスキャンを実行した直後は、番組表が表示されない場合があります。
- ⑯ : [テレビ設定アイコン]
テレビの設定をします。(→ 131 ページの「テレビを設定する」を参照)

テレビ画面 (2画面分割表示時) について



- ①: miniB-CAS カード挿入状態
miniB-CAS カードが挿入されていない場合は「×」で表示します。
- ②: 受信感度
受信感度を表示します。アンテナ部分が白色の場合は地上デジタル放送受信、赤色の場合はワンセグ放送受信です。
- ③: 音量
音量を表示します。ミュート (消音) している場合は「×」になります。
- ④: [×アイコン]
テレビを終了します。
- ⑤: テレビ
ダブルタップすると、分割表示を終了します。
- ⑥: [チャンネル変更アイコン]
チャンネルを変更します。
- ⑦: [受信モードアイコン]
受信モードを切り替えます。(→ 128 ページの「受信モードを設定する」を参照)
- ⑧: [音量アイコン]
音量を調整します。
- ⑨: [ミュートアイコン]
音量をミュート (消音) します。

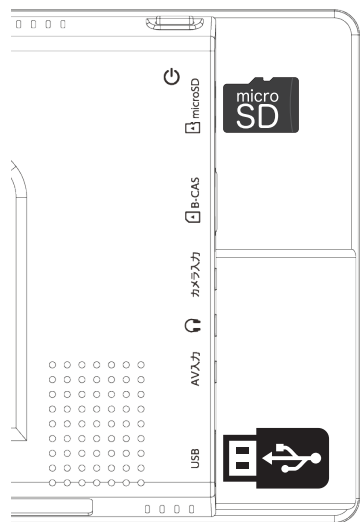
テレビを設定する

設定項目	内容	
中継局サーチ	中継局サーチの ON/OFF を切り替えます。 中継局サーチを ON にすると、移動などで受信状態が悪くなった場合、受信状態のよい中継局に自動で切り替えます。 ※系列局への切り替えは行いません。	
受信モード	受信モードを切り替えます。	
	自動切替え	電波状況がよい場合は地上デジタル放送で、悪い場合はワンセグ放送で受信するように自動で切り替えます。
	地デジ固定	地上デジタル放送で受信します。
	ワンセグ固定	ワンセグ放送で受信します。
字幕設定	字幕の表示有無を設定します。	
音声設定	主 + 副音声	音声を主音声と副音声にします。
	主音声	音声を主音声にします。
	副音声	音声を副音声にします。
代表チャンネル	チャンネルリストに代表チャンネルのみを表示するかどうかを設定します。	
時刻表示	TV 画面を全画面表示した場合に、TV 画面に時刻を表示するかどうかを設定します。	
警告画面表示	起動時に警告画面を表示するかどうかを設定します。	

メディアおよびファイルについて

利用できる記録メディアについて

本機では microSD および microSDHC の仕様に準拠したマイクロ SD カードと USB メモリー (USB2.0) がご利用になれます。



microSD カードの入れ方：

- 電源を OFF にする。
- イラストを参考にして、microSD カードをカチッと音がするまで、差し込みます。

microSD カードの取り出し方：

- 電源を OFF にする。
- microSD カードを奥に押します。
- microSD カードが少し飛び出しますので、そのまま引き抜きます。

USB メモリーの入れ方：

- 電源を OFF にする。
- イラストを参考にして、USB メモリーを差し込みます。

USB メモリーの取り出し方：

- 電源を OFF にする。
- USB メモリーを引き抜きます。

再生できるファイル形式について

本機で再生可能なファイル形式は以下の通りです。

※ファイルの作成方法によっては、再生／表示できない場合があります。

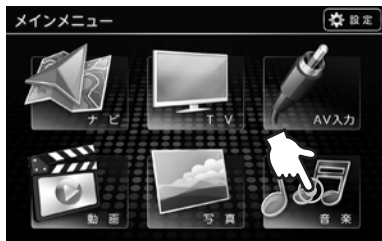
※コピープロテクトや著作権管理が設定されているファイルは再生できません。

形式		拡張子
音楽ファイル	MP3	.mp3
	WMA	.wma
動画ファイル	AVI	.avi
	MP4	.mp4
	WMV	.wmv
画像ファイル	BMP	.bmp
	JPEG	.jpg
	PNG	.png

音楽を再生する

メインメニューから起動する

- 1 メインメニューで [音楽] をタッチします。



- 2 音楽プレイヤーが起動します。



ナビから起動する

- 1 地図で [AVアイコン] をタッチします。



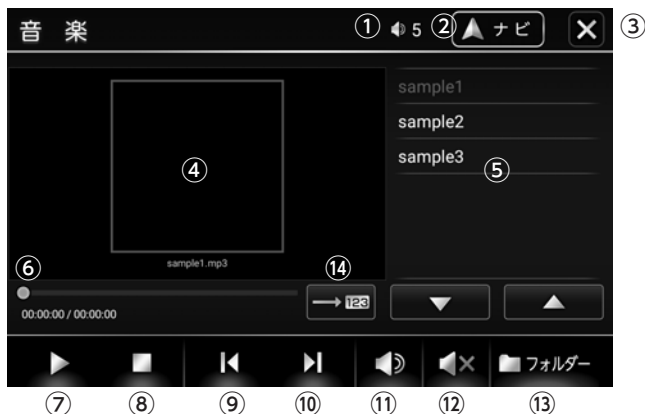
- 2 AVメニューが表示されます。[音楽] をタッチします。



- 3 ナビ画面と音楽プレイヤーが同時に分割表示されます。(→ 58 ページの「ナビと AV 機能を分割表示する」を参照)

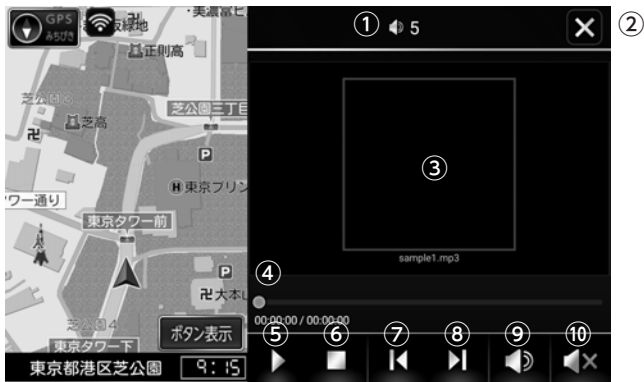


音楽プレーヤーについて



- ①：音量
音量を表示します。ミュート（消音）している場合は「×」になります。
- ②：[ナビアイコン]
ナビを起動します。
- ③：[×アイコン]
音楽プレーヤーを終了します。
- ④：ジャケット画像
- ⑤：曲リスト
フォルダーに含まれる曲をリスト表示します。
曲リストから再生したい曲をタッチして再生します。
- ⑥：[シークバー]
シークバーをスライドさせて曲の早送り／早戻しをします。
- ⑦：[再生／一時停止アイコン]
曲を再生／一時停止します。
- ⑧：[停止アイコン]
曲の再生を停止します。
- ⑨：[前へアイコン]
前の曲を再生します。
- ⑩：[次へアイコン]
次の曲を再生します。
- ⑪：[音量アイコン]
音量を調整します。
- ⑫：[ミュートアイコン]
音量をミュート（消音）します。
- ⑬：[フォルダー]
音楽ファイルがあるフォルダーを指定します。（→ 135 ページの「音楽ファイルがあるフォルダーを指定する」を参照）
- ⑭：[再生方法アイコン]
タッチして曲の再生方法を切り替えます。
- 先頭から順番に再生します。
- ランダム再生します。
- 1 曲リピート再生します。
- 全曲リピート再生します。

音楽プレーヤー (2画面分割表示時) について



- ①: 音量
音量を表示します。ミュート (消音) している場合は「×」になります。
- ②: [×アイコン]
音楽プレーヤーを終了します。
- ③: ジャケット画像
ダブルタップすると、分割表示を終了します。
- ④: [シークバー]
シークバーをスライドさせて曲の早送り/早戻しをします。
- ⑤: [再生/一時停止アイコン]
曲を再生/一時停止します。
- ⑥: [停止アイコン]
曲の再生を停止します。
- ⑦: [前へアイコン]
前の曲を再生します。
- ⑧: [次へアイコン]
次の曲を再生します。
- ⑨: [音量アイコン]
音量を調整します。
- ⑩: [ミュートアイコン]
音量をミュート (消音) します。

音楽ファイルがあるフォルダーを指定する

1 [フォルダー] をタッチします。

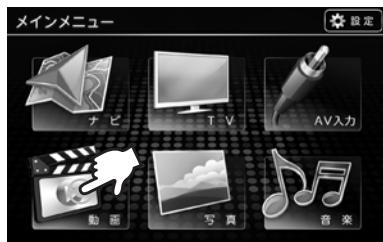
2 左のフォルダーリストから該当のフォルダーをタッチして右の音楽ファイルリストから再生したい曲をタッチします。



動画を再生する

メインメニューから起動する

- 1 メインメニューで [動画] をタッチします。



- 2 動画プレイヤーが起動します。



ナビから起動する

- 1 地図で [AV アイコン] をタッチします。



- 2 AVメニューが表示されます。[動画] をタッチします。



- 3 ナビ画面と動画プレイヤーが同時に分割表示されます。(→ 58 ページの「ナビと AV 機能を分割表示する」を参照)

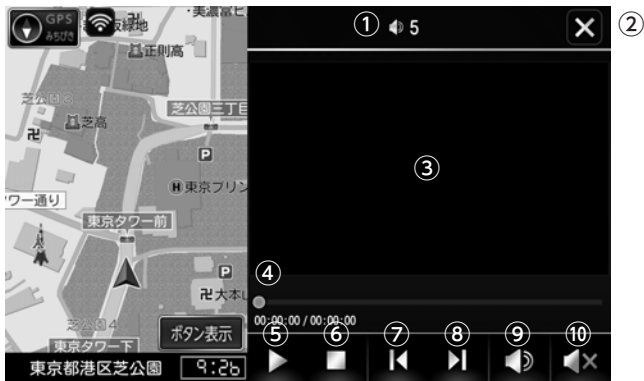


動画プレーヤーについて



- ①：音量
音量を表示します。ミュート（消音）している場合は「×」になります。
- ②：[ナビアイコン]
ナビを起動します。
- ③：[×アイコン]
動画プレーヤーを終了します。
- ④：動画
タッチすると、全画面表示します。再度タッチすると、全画面表示を終了します。
- ⑤：動画リスト
フォルダーに含まれる動画をリスト表示します。動画リストから再生したい動画をタッチして再生します。
- ⑥：[シークバー]
シークバーをスライドさせて動画の早送り／早戻しをします。
- ⑦：[再生／一時停止アイコン]
- 動画を再生／一時停止します。
- ⑧：[停止アイコン]
動画の再生を停止します。
- ⑨：[前へアイコン]
前の動画を再生します。
- ⑩：[次へアイコン]
次の動画を再生します。
- ⑪：[音量アイコン]
音量を調整します。
- ⑫：[ミュートアイコン]
音量をミュート（消音）します。
- ⑬：[フォルダー]
動画ファイルがあるフォルダーを指定します。（→ 138 ページの「動画ファイルがあるフォルダーを指定する」を参照）

動画プレーヤー (2画面分割表示時) について



- ①: 音量
音量を表示します。ミュート (消音) している場合は「×」になります。
- ②: [×アイコン]
動画プレーヤーを終了します。
- ③: 動画
ダブルタップすると、分割表示を終了します。
- ④: [シークバー]
シークバーをスライドさせて動画の早送り/早戻しをします。
- ⑤: [再生/一時停止アイコン]
動画を再生/一時停止します。
- ⑥: [停止アイコン]
動画の再生を停止します。
- ⑦: [前へアイコン]
前の動画を再生します。
- ⑧: [次へアイコン]
次の動画を再生します。
- ⑨: [音量アイコン]
音量を調整します。
- ⑩: [ミュートアイコン]
音量をミュート (消音) します。

動画ファイルがあるフォルダーを指定する

1 [フォルダー] をタッチします。



2 左のフォルダーリストから該当のフォルダーをタッチして右の動画ファイルリストから再生したい動画をタッチします。



写真を表示する

メインメニューから起動する

- 1 メインメニューで [写真] をタッチします。



- 2 フォトビューアーが起動します。



フォトビューアーについて



- ①: [×アイコン]
フォトビューアーを終了します。
- ②: 写真
写真をタッチすると、全画面表示します。再度タッチすると、全画面表示を終了します。
- ③: 写真リスト
フォルダーに含まれる写真をリスト表示します。
写真リストから表示したい写真をタッチして表示します。
- ④: [前へアイコン]
前の写真を表示します。
- ⑤: [次へアイコン]
次の写真を表示します。
- ⑥: [回転]
写真を回転します。
- ⑦: [スライドショー]
写真リストの写真をスライドショーで表示します。
- ⑧: [サムネイル]
写真リストをサムネイル表示します。
- ⑨: [フォルダー]
写真ファイルがあるフォルダーを指定します。(→ 140 ページの「写真ファイルがあるフォルダーを指定する」を参照)

フォトビューアー（全画面表示時）について

- 1 [写真] をタッチします。



- 2 写真が全画面で表示されます。全画面表示では以下の操作ができます。
タッチ：

全画面表示を終了します。

右にフリック：

次の写真を表示します。

左にフリック：

前の写真を表示します。

ダブルタップ：

写真を拡大表示します。

ピンチアウト：

写真を拡大表示します。

拡大状態でピンチイン：

写真を縮小表示します。

拡大状態でフリック/ドラッグ：

写真を移動します。

写真ファイルがあるフォルダーを指定する

- 1 [フォルダー] をタッチします。



- 2 左のフォルダーリストから該当のフォルダーをタッチして右の写真ファイルリストから表示したい写真をタッチします。

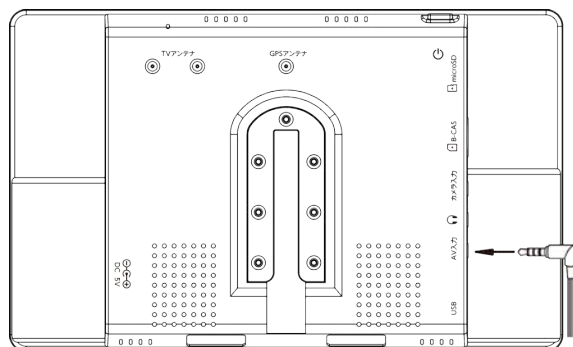


外部機器を接続 (AV 入力) する

AV ケーブルを接続する

オプションの「AV ケーブル」を本体と外部機器に接続します。

※ AV ケーブルは弊社オプション品をご利用ください。オプションの「AV ケーブル」は、RCA 端子オスタイプと RCA 端子メスタイプの 2 種類があります。



AV 入力端子に接続
※専用コネクター
(3.5mm4 極ミニプラグ)

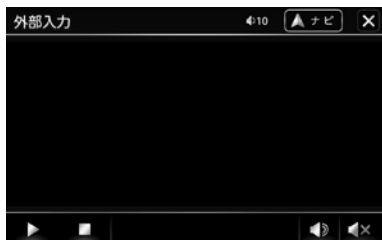
外部機器に接続
※ RCA 端子オスタイプまたは
RCA 端子メスタイプ

メインメニューから起動する

- 1 メインメニューで [AV 入力] をタッチします。



- 2 外部機器からの映像が表示されます。



ナビから起動する

- 1 地図で [AV アイコン] をタッチします。



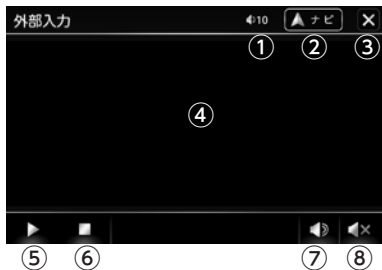
- 2 AVメニューが表示されます。[AV入力] をタッチします。



- 3 ナビ画面と外部機器からの映像が同時に分割表示されます。(→ 58 ページの「ナビと AV 機能を分割表示する」を参照)



外部入力画面について



- ①：音量
音量を表示します。ミュート（消音）している場合は「×」になります。
- ②：[ナビアイコン]
ナビを起動します。
- ③：[×アイコン]
外部入力画面を終了します。
- ④：外部機器からの映像
タッチすると、全画面表示します。再度タッチすると、全画面表示を終了します。
- ⑤：[再生／一時停止アイコン]
再生／一時停止します。
- ⑥：[停止アイコン]
再生を停止します。
- ⑦：[音量アイコン]
音量を調整します。
- ⑧：[ミュートアイコン]
音量をミュート（消音）します。

外部入力画面（2画面分割表示時）について

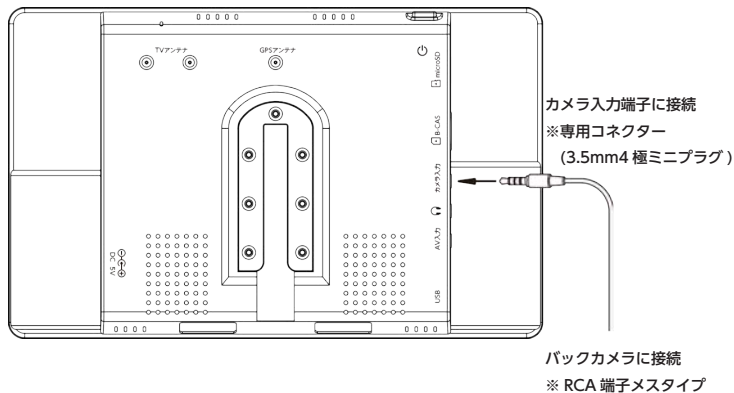


- ①：音量
音量を表示します。ミュート（消音）している場合は「×」になります。
- ②：[×アイコン]
外部入力画面を終了します。
- ③：外部機器からの映像
ダブルタップすると、分割表示を終了します。
- ④：[再生／一時停止アイコン]
再生／一時停止します。
- ⑤：[停止アイコン]
再生を停止します。
- ⑥：[音量アイコン]
音量を調整します。
- ⑦：[ミュートアイコン]
音量をミュート（消音）します。

バックカメラを接続する

オプションの「カメラケーブル」を本体とバックカメラに接続します。バックカメラ信号が入力されると自動的にバックカメラ信号に切り替わります。システム設定でバックカメラの表示有無を設定します。(→ 44 ページの「システム設定する」を参照)

※カメラケーブルは弊社オプション品をご利用ください。



その他

仕様

CPU	Rockchip RK3128	
メインメモリ	1GB	
内部ストレージ	16GB	
本体	外形寸法	197mm(幅) × 122mm(高さ) × 20mm(奥行き)
	質量	約 360g
	使用温度範囲	0°C ~ +60°C
	電源電圧	DC5V
	消費電流	1.6A
	消費電力	8W
液晶ディスプレイ	画面サイズ	8V 型
	画素数	3,072,000 画素 (横 1280 × 縦 800 × 3)
	表示方式	透過型カラーフィルター方式
	駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
	使用光源	LED バックライト
	タッチパネル	静電容量式タッチパネル
内蔵スピーカー	寸法・形状	φ 30mm 丸型
	定格出力	1.0W
	最大出力	1.5W
内蔵 GPS	u-blox UBX-G8020-KT	
端子	電源入力端子	DC5V
	AV 入力端子	専用コネクタ (3.5mm4 極ミニプラグ)
	バックカメラ入力端子	専用コネクタ (3.5mm4 極ミニプラグ)
	ヘッドホン出力端子	3.5mm ステレオミニプラグ
	地上デジタル放送用アンテナ端子	専用コネクタ (MCX)
	外部 GPS アンテナ端子	専用コネクタ (MCX)
地上デジタルチューナー	受信可能放送	地上デジタル放送方式 (日本) フルセグ / ワンセグ対応
	受信チャンネル	UHF13CH ~ 52CH
	B-CAS カード	miniB-CAS カード
シガーソケットコード	使用電源	DC12V/DC24V マイナスアース
	ヒューズ	2A
	長さ	1.5m
	出力電圧	DC5V
	質量	約 85g
吸盤スタンド	吸盤寸法 (直径)	85mm
	質量	約 150g(吸盤スタンド単体)
SD カード	microSD, microSDHC	
USB	USB2.0	
無線機能	Wi-Fi 802.11b/g/n	

保証について

- 保証書（裏表紙参照）
保証書は、必ず「お買い上げ日」、「販売店」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。
- この製品は持込修理とさせていただきます。
- 修理を依頼される場合は、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- 保証期間中は、保証書の規定に従って、修理させていただきます。修理をご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後は、修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理致します。
- 補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後3年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 点検や修理の際、履歴や登録されたデータが消去される場合があります。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

保証書 (持込修理)

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。

品番	RQ-A820PVF	
お買い上げ日	年 月 日	
保証期間	お買い上げの日から 1 年	
販売店様 ご記入欄	販売店名	
	住所	
	電話番号	
お客様 ご記入欄	お名前	
	ご住所	
	電話番号	
	メールアドレス	
	シリアル番号	

- ・ 保証期間内でも以下の場合には有料修理になります。
- ・ 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・ お買い上げ後の移動、落下などによる故障および損傷。
- ・ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源や異常電圧による故障および損傷。
- ・ 特殊な条件下など、通常以外の使用による故障および損傷。
- ・ 故障の原因が本機以外にある場合。
- ・ 本書のご提示がない場合。
- ・ 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合 (レシート添付の場合は除く)。
- ・ 本体内蔵の電池やディスプレイなどの付属品および消耗品の消耗による交換。
- ・ 本書は、日本国内においてのみ有効です。
- ・ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
- ・ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。